週刊 YEARBOOK

日録20世紀

1989
平成元年

4|22
平成9年4月22日発行
(毎週1回発行)第1巻第10号
¥560
講談社

昭和天皇ご大喪!

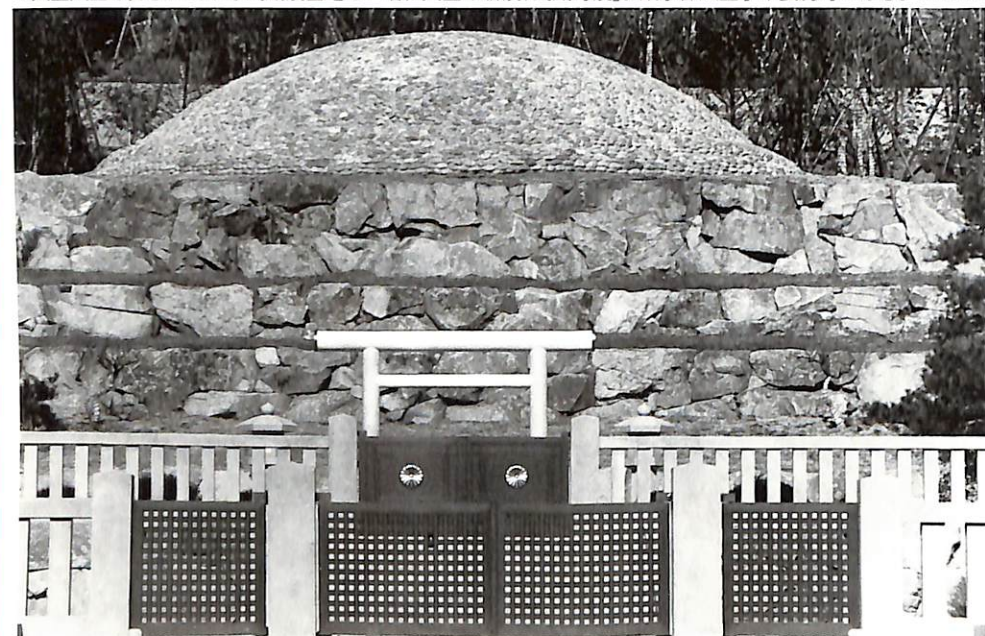
吉野ケ里発掘で邪馬台国論争が白熱化
消費税3パーセント、混乱と不安のスタート
解放軍が人民に武力!天安門広場の惨劇

100日を超えるご闘病のすえに

天皇崩御！

めまぐるしく動いた「昭和」最後の1日

1月7日、天皇崩御。ここに足かけ64年にわたった「昭和」が幕を閉じた。
アメリカでは、レーガン時代が終わり、ドイツでは、ベルリンの壁が28年ぶりに崩壊する。
国内では戦後税制の大改革が行われるなど、大きな時代のうねりの中で「平成」がスタートした。

▼大正天皇も葬られている武蔵陵墓地の、昭和天皇の新陵「武蔵野陵」。東京都八王子市長房町にある。共同通信社

▼「昭和天皇一周年祭」の平成2年1月7日、「武蔵野陵」墓前での皇后。朝日新聞社

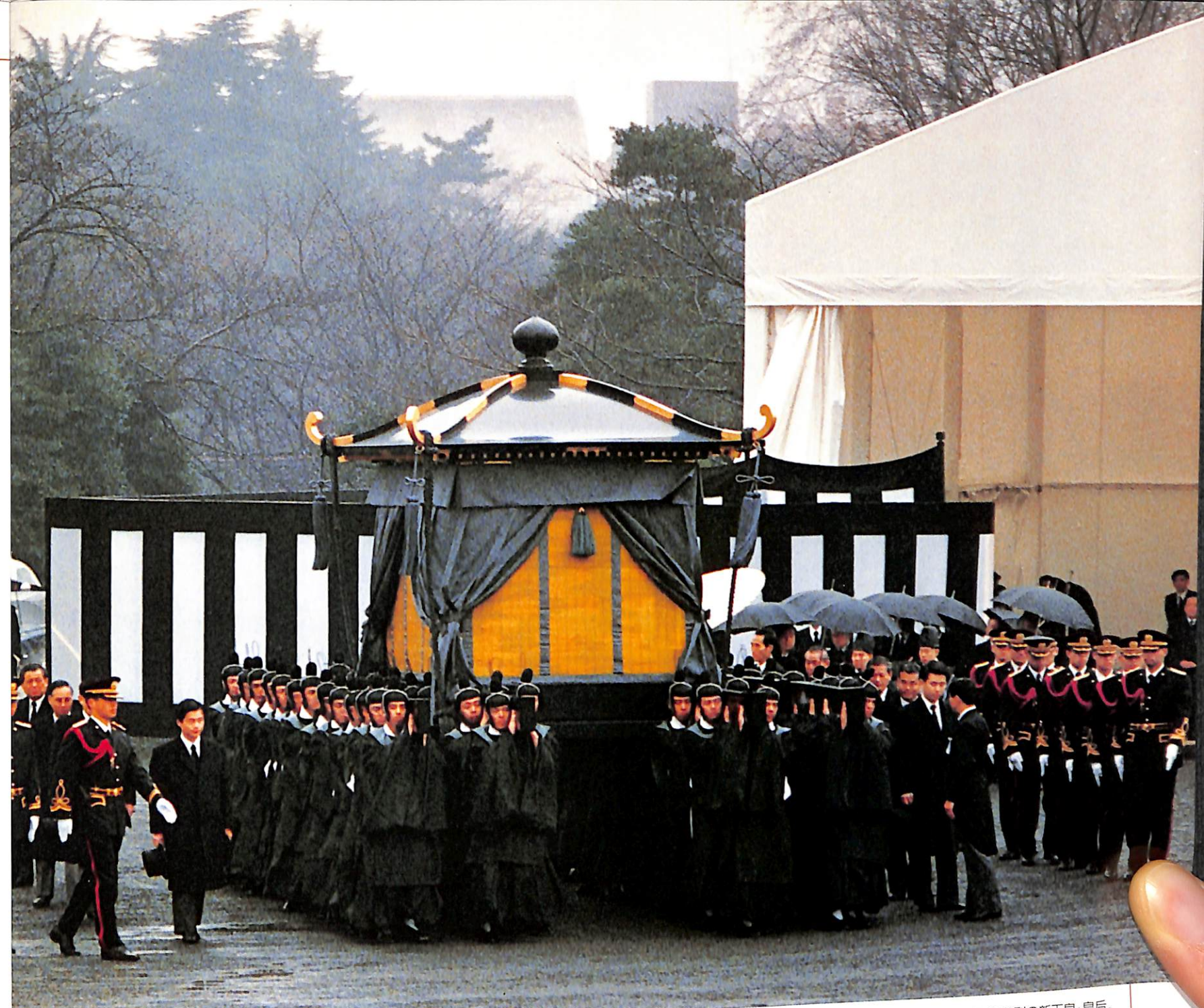
早暁六時三三分 吹上御所で崩御

一月七日、東京は早朝薄曇り、日中は厚い雲がたれこめ、平均気温八・四度、湿度五〇％と比較的暖かい一日だった。

午前七時五五分、藤森昭一宮内庁長官が「天皇陛下におかせられましては、本日午前六時三三分、吹上御所において崩御あらせられました」と発表。八七歳と八ヵ月のご生涯だった。

この日の早朝、高木顕侍医長が渋谷区代々木の自宅を出、パトカーに先導されて皇居に向かったのは五時四分。当時、東京新聞の宮内庁記者クラブのキャップだった右手正朝（現・外報部長）氏が宿泊していた九段のホテルグランドパレスの部屋の電話が鳴ったのもほぼその時刻、高木邸張り番記者からの連絡であった。

「私はすぐ飛び起き、皇居に車を飛ばしました。宮内庁の前田健治総務課長がパトカーで乾門を入り、執務室への階段を駆け登っていく姿を見た時、これからの状況をどう伝えるかで、頭がいっぱいになりました。私にとって忘れられないのは、やはり昭和六二年の天皇誕生祝賀会で途中退席されて以後の天皇の容体の変化でした。そして六三年の九月一九日、大量に吐血と下血をされ、一一一日もの闘病生活の中で刻々気力と体力が衰えられていった。時代がどんどん変わっていくことを痛感しました」と右手氏は語る。

崩御から三時間ほどたった午前九時三〇分、高木顕侍医長は天皇の病状経過をまとめた「御容体書」を読みあげ、「諸般の事由から慢性膵炎として公表いたしましたが、術後の臨床経過等より勘案し、あわせて病理側の意見を聞いて最終判断は十二指腸乳頭周囲腫瘍とすることにい

▲2月24日の「大喪の礼」の日、昭和天皇の柩を葱華輦（そうかれん）と呼ばれる輿に乗せてお運びする徒歩の列。朝日新聞社

▼「大喪の礼」にご参列の新天皇・皇后。

◎表紙　昭和天皇は、戦前は約一八年八ヵ月、戦後は約四三年五ヵ月の在位だった。写真は八七歳の誕生日を迎えられた昭和六三年四月二九日、皇居での一般参賀で。朝日新聞社

100日を超えるご闘病のすえに

天皇崩御！

めまぐるしく動いた「昭和」最後の1日

たします」と、発表直前までみずから筆を入れたとされる「御容体書」をしめくくった。

「御容体書」によれば、治療方針としては、積極的な治療は避け、長寿をまっとうしていただくことに全力を尽くした。

吐血にあたっては、大量の輸血と点滴中心の治療であったが、容体が好転することなく、一月七日午前四時すぎに、危篤状態におちいり、二時間後に永眠されたという。

天皇の五人の侍医の一人だった内田俊也氏は当時を振り返り、「尿が出なくなった一月五日、その日、利尿剤などあらゆる方法をとっても反応がなく、あと数日と感じました。ご臨終の時は酸素吸入を担当して枕元にいたのですが、涙がとめどもなく流れてきました。よくここまで辛抱されたという気持ちでいっぱいでしたね」とその感慨を語る。

日本各地では天皇崩御に対するさまざまな思いが駆けめぐった。

お年寄りと若者の表情は対照的だった。「私は軍隊へ行っており、天皇陛下は親も同然、一日も早いご回復を祈っていたのですが……」（「陸奥新報」一月七日）と、ショックを隠しきれない七三歳の思いに対し、「構内の各学生食堂では、テレビで陛下崩御の模様が伝えられているが、学生らは無関心で話題にもしなかった」（「常陽新聞」一月八日）と筑波大学での学生の表情を伝えた報道もあった。

「天皇の戦争責任はあると思う」と市議会で発言、波紋を広げた本島等長崎市長は、同市役所で、「とにかくご冥福をお祈りするだけ」と短いコメントを読みあげた。まさに国民一人一人の表情は重苦しく、複雑だった。

皇居正門が開き、坂下門前で弔問記帳が始まったのは午前九時すぎ、記帳時間を二時間半延長し、午後八時二五分の締め切りまでに記帳者数は二七万九四〇七人にものぼった。

皇位継承の儀式である「剣璽等承継の儀」は一〇時一分に始まり、一〇時五分に終了。その後政府は皇位継承にともない、午後二時一分から臨時閣議を開き、「平成」「修文」「正化」の三案から新元号を「平成」と決定する。めまぐるしい「昭和」最後の一日だった。

▲1月7日、天皇崩御の報に接し、弔問記帳のため、皇居・坂下門に大勢の人たちが訪れた。朝日新聞社

内外から一万人が参列 新宿御苑で「大喪の礼」

昭和天皇の「大喪の礼」は平成元年二月二四日に行われた。その日の東京は、朝から氷雨が降り続く寒い一日だった。警視庁はこの日、警官三万二〇〇〇人を動員、空前の厳戒態勢をとった。学校はほとんど休校、商店街でも店を開いているのはまばらであった。

悪天候にもかかわらず、皇居から武蔵陵墓地までの沿道で葬列を見送った人々は五七万人にものぼり、東京・三宅坂にはブラジルから戻った元陸軍少尉・小野田寛郎さんの姿もあった。

大喪は神道の皇室儀式と国の儀式に分けて東京・新宿御苑で行われた。国の儀式であった「大喪の礼」には、一六三ヵ国、二八の国際機関代表ら、内外から一万人が参列した。一九六三年のケネディ大統領の時には七五ヵ国、八〇年のユーゴスラビアのチトー大統領の際には一二一ヵ国であったが、それを超す史上最大規模の葬儀となった。天皇のご遺体は夕刻、東京・八王子の武蔵陵に埋葬され、安らかな眠りにつかれた。

「天皇崩御」に関する各国の報道

共同通信社

▶「大喪の礼」に参列の外国首脳。

天皇崩御は全世界で報じられた。第2次世界大戦当事国の指導者として、また世界に誇る経済大国日本の帝として天皇に対する各国の反応はさまざまだった。

アメリカの「ニューヨーク・タイムズ」紙は「裕仁の病気が明らかにされた時の、あの感情の高まりを見ていると、皇室をとりまく神秘のベールはあいかわらず存在し、日本のデモクラシーは、アメリカとは別種のルールによって動かされていることがわかる」と天皇に対する日本人の特別な感情を紹介。イギリスの「エコノミスト」誌は、「日本が世界大戦に参戦したことは、日本人の愛国心を鼓舞したばかりか、アジア人全体からも、にっくきヨーロッパ帝国主義への服従にやっと終止符を打つものとして、大いに歓迎されたし、実際そのとおりにアジアを隷属から解き放った」と昭和天皇への賛辞を表した。

一方、中国の「人民日報」は8日、「裕仁天皇は戦前、日本を統治する"現人神"で在位期間中に、日本は対中侵略戦争と太平洋戦争を起こした」と報道。韓国の夕刊紙「中央日報」は7日の社説で「韓民族に対するおびただしい罪科に究極的な責任を負わなければならない象徴的な人物。真心から哀悼の意を表せないのを遺憾に思う」としながらも、「90年代以降の新時代を開く明仁・新日皇（天皇）の承継を歓迎する」と日韓新時代への期待をも表明した。

▼1月7日、皇居・宮殿松の間での「剣璽等承継の儀」。剣璽（剣と曲玉）と国璽を新天皇に伝達する儀式である。

時事通信社

「楼観に立てば邪馬台国が見える」やぐら跡・土塁発見で〝吉野ケ里フィーバー〟

▲邪馬台国ではないかと、〝全国区〟の人気を呼び、連日多くの見学者でにぎわう吉野ケ里遺跡。読売新聞社

なだらかに広がる丘陵の一角に城柵がめぐらされ、高さ二〇㍍もの物見やぐらがそびえ立つ吉野ケ里遺跡。発見当初から「魏志倭人伝」にある邪馬台国ではないかと全国から注目をあびたが、その発掘と保存には、古代のロマンを求める人々の熱意と幸運があった。

存亡の危機にあった吉野ケ里遺跡に〝援軍〟

「平成元年の一月、墳丘墓を発掘していると、鮮やかなコバルト色の管玉や有柄銅剣が次々に見つかって、『これで遺跡を残せる』とみんなで喜び合いました。九回裏二死から逆転満塁ホームランを打ったようなものでした」と、佐賀県教育委員会文化財課主査の七田忠昭氏(四五)はその瞬間を振り返る。

七田氏の父親も戦前、あたり一帯を調査していたから、親子二代にわたる成果だった。その時、吉野ケ里遺跡は、氏の言うように存亡の危機だったのである。

吉野ケ里丘陵一帯は、戦前から土器などが見つかっており、重要な遺跡と推定されていた。昭和五六年、この地域に佐賀県が工業団地建設を計画し、埋蔵遺跡の確認調査を実施することになったのである。

五七年に行われた確認調査の結果、工業団地の造成予定地六六㌶のうち、三六㌶に埋蔵遺跡があることが確認された。

そこで本格的な発掘調査が、昭和六一年五月から平成元年三月までの予定で行われ、連日、一〇〇人規模での発掘が続いた。

その結果、大規模な弥生時代の墓地や集落跡などが見つかり、調査の最終段階では、国内最大規模の環濠集落が確認された。二〇〇〇基におよぶ甕棺、物見やぐら跡と推定された柱穴、土塁、高床式の建物や倉庫跡、竪穴住居、さらに墳丘墓から国内では珍しい有柄銅剣や美しいガラス製管玉が発見されたのである。

しかし、三年間の調査が終わると、工業団地造成工事が予定されていた。

「仲間内で、ここは邪馬台国の跡ではないかと冗談で言っていましたが、二月に入って当時奈良国立文化財研究所にいらした佐原真先生が来られて、その可能性もあると言われた時は、援軍を得た思いでした」と七田氏。

丘陵一帯の保存を求めていた「佐賀の自然と文化を守る会」は、遺跡の宝庫を保存しようと県に働きかけたがらちがあかず、文化庁に陳情書を送る。

同じ頃、朝日新聞社の藪下彰治編集委員は吉野ケ里の話を聞き、文化庁に問い合わせると「守る会」の陳情書を見せられ、身の震えるのを感じたという。

それが、平成元年二月二三日の「朝日新聞」一面で「倭の一つのクニの中心部か」という記事になった。そこでは、佐原氏の解説で「魏志倭人伝」では邪馬台

◀写真手前の台地状の部分が墳丘墓。埋葬されていた甕棺から、銅剣や管玉が発見された。写真上方の集落跡まで、大規模な環濠が続いている。
共同通信社

女たちの肖像

いきなり二〇〇万部 売れる純文学作家 吉本ばななの「現象」

稲葉真弓

共同通信社

▲『TUGUMI』で、山本周五郎賞を受賞。

弱冠二三歳、彗星のように登場した作家吉本ばななは、この年まさに時代現象的な迎えられ方をした。昭和六二年に福武書店（現・ベネッセコーポレーション）の海燕新人文学賞を受賞した短編小説「キッチン」は、翌年単行本化されるやいなや、ぐんぐん部数を伸ばし、たちまち二〇〇万部。続いて出版された『うたかた／サンクチュアリ』『白河夜船』もそれぞれ一〇〇万部を突破、『TUGUMI』などの著書を合わせると、五〇〇万部突破という純文学の世界では常識破りの売れ行きを示した。このため「ばなな現象」という言葉が流行語になるほどで、平成元年度の彼女の納税額は二億三六九九万円と、業界第三位に躍り出た。

彼女の作品が多くの若者の心をとらえたのは、セーラー服を着る男子高校生、女装する父親、男言葉を使う少女など、ジェンダーの壁を軽々と超えた柔らかい感性の持ち主たちが登場すること、オカルト的な超常現象シーンが取りこまれていること、またバナナの赤い花が好きだからという理由でつけられたペンネームのユニークさなどがあげられるが、平易な文体にも大きな特徴があった。多用される「哀しい」「切ない」「寂しい」というダイレクトな口語体表現は、文壇では「少女漫画的」と評されたが、若い世代の間では圧倒的な支持を得たのである。さらに父親が六〇年、七〇年安保の学生運動に多くの影響を与えた詩人・評論家の吉本隆明だという点も、話題を呼ぶ要因のひとつだった。この父親の影響を受けてか、子どもの頃から「自分は作家になるんだ」と思っていたという。

「キッチン」はアメリカやイタリアでも翻訳されたが、イタリアでは「現代の紫式部」と評価されるなど、ばなな現象は海外にも飛び火。私生活では、若手担当編集者との同棲と別れを体験。ただし、別れた後も友人づきあいを続けるカラッとした姿勢が、またまた若い世代をしびれさせた。

平成六年に行われた女性誌のインタビューでは、「吉本ばななの第一部は終り。三〇歳を機に宗教物、恋愛物で新生ばななをめざす」と宣言。その言葉どおり、バリ島への旅をルポルタージュ風に描いた〝体験小説〟や、宗教的な癒しやチャネリングを取り入れたスピリチュアルな作品に意欲を燃やしている。

勝者・敗者

甦った「マサカリ投法」 真っ向勝負の村田兆治 不惑の年で二〇〇勝！

阿部珠樹

五月一三日、ロッテオリオンズの投手、村田兆治（三九）は、山形で行われた対ファイターズ戦で完投勝利を飾った。プロ入り通算二〇〇回目の勝ち名乗りである。

しかし、村田の選手生活が順調なものであったなら、この記録はとうに達成されていたはずだった。

広島県の福山電波工業高校（現・近大福山高校）から、ドラフト一位でロッテの前身、東京オリオンズに入団した村田は、最初は力まかせに速球を投げこむだけの不器用な投手だった。その後フォークボールを身につけ、両腕を大きく振り上げ、真っ向からマキを割るように投げ下ろす「マサカリ投法」を自分のものにして、徐々に頭角を現す。昭和四九年にはチームの日本シリーズ優勝にも貢献した。

その村田に試練が訪れるのは昭和五七年のことである。長年の酷使でひじの腱を傷め、シーズンを棒に振る。翌年、スポーツ医学の権威、フランク・ジョーブ博士の治療を受けるために渡米、左腕の腱を右に移植する。当時、日本の野球界では、「ひじや肩にメスを入れた選手は再起できない」というのが常識だった。手術を受けた村田は、その常識に挑戦するかのように、過酷なリハビリを開始する。

そして手術から二年後の昭和六〇年四月、村田は対ライオンズ戦で久々の勝ち星をあげるところまでこぎつけた。約三年ぶりの勝ち星はかつてと同じ力強いマサカリ投法によるものだった。

甦った村田は、その後、日曜ごとに先発し、「サンデー兆治」などというニックネームをもらいながら、オリオンズ投手陣の精神的な支柱として活躍する。通算二〇〇勝は、プロ入り二一年目、不惑の年に迎えた快挙だった。

「長いこと野球をやってきてよかった」

ファンやチームメイトの祝福を受けた村田は、少しはにかみながら、言葉少なに感想を述べた。その態度は、妻の淑子さんが「昭和生まれの明治男」と表現した武骨な男にふさわしい、奥ゆかしいものだった。

▼通算604試合に出場して、215勝177敗の成績を残し、平成2年に引退した。

▲この年10月には、物見やぐらが復元され、「魏志倭人伝」に記された世界が蘇った。復元に要した費用は、2900万円。渥美武文

国の卑弥呼の居館を「宮室、楼観、城柵」と記述しているが、今回の柱穴から推定された物見やぐらが「楼観」、土塁が「城柵」の姿をうかがわせるとしたから、全国的な話題を呼んだ。

邪馬台国論争に一石、九州説が力を得たが

邪馬台国の所在については、以前から「畿内説」と「九州説」との間で論争が続いていた。『邪馬台国論争』の著書もある毎日新聞社特別編集委員の岡本健一氏が吉野ケ里遺跡の意味を指摘する。

「それまで、『倭人伝』で言う宮室、楼観、城柵は、誇張として真面目に取り上げられず、その痕跡の発見例もなかった。それが吉野ケ里で見つかったのだから、邪馬台国＝九州説に大きく傾いたのは事実。ただし、この後に奈良県や京都府で、畿内説を補強する遺物が発見され、現在では畿内説に傾いているのが現状です」

ともあれ、「朝日新聞」の報道が「吉野ケ里フィーバー」に火をつけた。「楼観に立てば邪馬台国が見える」というフレーズに誘われて、二ヵ月半で一〇〇万人の見学者が現地を訪れるという騒ぎになったのである。

それでも県は、工業団地造成予定地の一部を古代公園にして保存するが、工業団地自体の造成計画は断念しなかった。

平成元年一〇月には物見やぐらが復元され、一一月には構成員二〇万人と言われる「吉野ケ里遺跡全面保存会」も結成された。文化庁も遺跡の保存に積極的な姿勢を見せ、翌二年、二二ヘクタールを国史跡に指定、三年五月には特別史跡に昇格させた。こうした経緯をへて、三年七月、県はついに工業団地造成計画を断念、全面保存を決定した。

平成四年一〇月には国営史跡公園化も決まり、その準備が進んでいる。JRも、五年にもよりの長崎本線「三田川」駅の駅名を「吉野ケ里公園」駅に変更するという力の入れようだ。

広域にわたる遺跡発掘は、大規模な開発工事で発見される例が多いが、開発計画が変更されないかぎり、破壊される運命にある。吉野ケ里遺跡の全面保存は、数少ない幸運な例となったのだが、それは、今、話題の青森県三内丸山遺跡の保存にもつながるものだったのである。

▼濠や土塁に囲まれ楼観を備えた遠景は、2000年の時空を超えて往時を彷彿させる。渥美武文

▶有人潜水調査船「しんかい6500」が進水(1月19日)建造費125億円、潜水能力は水深6500メートルで世界一を誇る。深海の生物や鉱物質を探査するものだが、8月11日には6527メートルの世界記録を作った。

読売新聞社

◀米大統領にブッシュ就任(1月20日)ワシントンの連邦議会議事堂前の特設会場で、第41代大統領就任式が行われ、「心やさしい国をめざす」などと就任演説で決意表明。写真はパレードの車から降り、歓呼の群衆に手を振る新大統領夫妻。

共同通信社

▶神戸製鋼、初のラグビー日本一(1月15日)東京国立競技場で行われた第26回日本選手権で、学生王者の大東大に46対17で圧勝。3トライを決めた主将・平尾(中央)の活躍が光った。

読売新聞社

▼水道管破裂で国道17号線陥没、住宅街浸水(1月30日)水は東京の都営地下鉄三田線・新板橋駅前から噴出、床上浸水になったため40世帯に避難命令が出た。

朝日新聞社

▶島田事件の死刑囚が冤罪(1月31日)幼女殺人事件で死刑となっていた赤堀政夫被告(59)の再審で静岡地裁が無罪判決。写真は34年ぶりに釈放された赤堀さん。

共同通信社

▼青木功、世界4大ツアー制覇(1月22日)オーストラリアのメルボルン・ゴルフクラブで行われていたコカコーラ・クラシックで優勝、46歳限界説も吹き飛ばした。

共同通信社

昭和64年　平成元年1月

1(日)●大阪市営地下鉄、終日禁煙を実施。
2(月)●熊本市で六つ子誕生。母親は排卵誘発剤使用。
3(火)●全国の三ヶ日の初詣で客は七五四四万人で前年比三九三万人減、と警察庁。
4(水)●東証大発会、三万二四三円六六銭と過去最高。
●半導体市場で日本シェア五〇㌫超と米社発表。
5(木)●放送大学が二教授を手続き踏まず解任と判明。
6(金)●大阪府警、藤沢市の幼児誘拐事件(62年4月)で、元警視庁警部を逮捕。
7(土)●天皇崩御、皇太子が新天皇に即位。
●閣議、新元号を「平成」と決定し、公布。
8(日)●フジテレビ「サザエさん」が放送一〇〇〇回。
9(月)●第一勧銀、宝籤の通信販売を始める。
10(火)●大阪府教委、海外からの留学生を正式な府立高校生とし、修得した単位を認定と決める。
11(水)●大蔵・厚生両省、厚生年金の保険料率を一四・六㌫に決定。約二割の値上げ。
12(木)●未開発の自然は国土の二割以下と環境庁。
13(金)●法務省、日本語学校二三校を不適格校に指定。
14(土)●国の各機関の第二、第四土曜休日制が始まる。
15(日)●NHK、小中学校からも受信料徴収を検討。
16(月)●JR山陽新幹線姫路—西明石間で架線が切れ、復旧に八時間。三三万人に影響が出る。
17(火)●全日本聾唖連盟、「平成」の手話通訳は右手を水平に動かすと決める。
18(水)●厚木基地の夜間訓練の硫黄島移転で日米合意。
19(木)●ホリプロ、芸能プロ初の株式店頭公開を決定。
20(金)●米大統領にジョージ・ブッシュが就任。
21(土)●北朝鮮労働党代表団、社会党の招きで初来日。
22(日)●国立予防衛生研、世界で初めて非A非B型肝炎ウイルスの分離に成功。
23(月)●一三自治体、公共料金への消費税賦課を断念。
24(火)●東京女子医大で血液型不適合の腎移植に成功。
25(水)●ジェトロ、昭和六二年度の海外直接投資は三三四億㌦で、五年連続記録更新と発表。
26(木)●東京外車ショー開幕。六ヵ国二五〇台出品。
27(金)●清水建設と三井生命がロンドンの大規模開発に参加と発表。出資額の半分を両社で負担。
28(土)●文部省、教科書会社から提出の「奴隷海岸」「ブッシュマン」などの訂正申請を承認。
29(日)●厚生省、介護福祉士の第一回国家試験を実施。
30(月)●環境庁制定のエコマーク商品制スタート。
31(火)●静岡地裁、島田事件(29年3月)の再審で赤堀政夫被告に無罪判決。

ニュース・ファイル

1989

フォト＋日録で再現する365日

リクルート事件、ソニーの米映画会社買収など、海外で金余り日本の悪評はぬぐい難かった。ベトナム難民はそんな日本をめざした。一方、国内政治不信が蔓延、引責辞任した竹下の後継首相・宇野も女性問題で頓挫、参院選は政治浄化を求めるマドンナ旋風が吹いた。

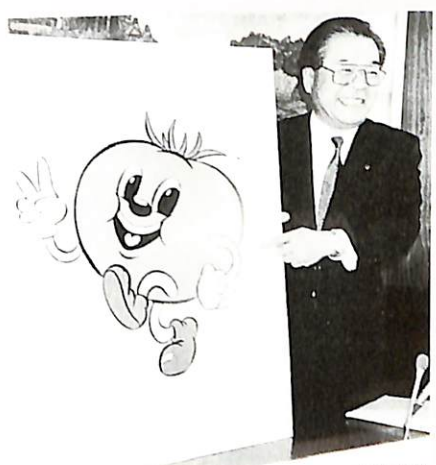
◀こんどは偽装ベトナム難民漂着(5月29日)長崎県五島列島の美良島で発見された小型漁船に107人の難民が乗船。後、海上保安庁は彼らは中国からの偽装難民と断定したが、日本へ来たベトナム難民は、この年9月末で8870人になった。
読売新聞社

◀ソ連軍、カブールから撤退(2月15日)アフガニスタン最後の駐留部隊が陸路国境を越え、1979年以来の内戦介入に終止符が打たれた。撤兵はジュネーブ和平合意に基づくもので、前年までに半数の5万人が撤兵していた。

WWP

▶広島県総領町で「1億円を囲んで夢を語る会」開く(2月14日)竹下内閣が「ふるさと創生」として各市町村に1億円の地方交付税を配分したが、これにこたえたもの。

読売新聞社

◀小説『悪魔の詩』著者ルシュディ、謝罪(2月18日)イラン最高指導者ホメイニ師が14日、この作品を反イスラム的と「死刑宣告」、日本の書店も販売自粛などの動きを見せていた。

共同通信社

共同通信社

▲トマト銀行誕生(2月10日)銀行自由化にともない1日、相互銀行52行が普通銀行(第二地方銀行)となり、各行必死の営業戦略を展開。山陽相銀はこの日、マスコット「トックン」を発表、4月にトマト銀行と行名変更した。

◀ついにリクルート前会長・江副浩正逮捕(2月13日)東京地検はNTT元幹部への未公開株譲渡を利益供与と断定、江副ら4人に贈収賄罪を適用した。写真は東京拘置所に入る江副容疑者。

朝日新聞社　共同通信社

▼マイク・タイソン、世界タイトル戦9連勝(2月26日)離婚問題などで8ヵ月ぶりのボクシングだったが、挑戦者のフランク・ブルーノを寄せつけず5回TKOで破った。

平成元年2月

1(水)●全国五二の相互銀行が普通銀行に転換。
2(木)●警察庁、前年一年間に開かれた反原発集会は一三一八回、参加者は十六万人余と発表。
3(金)●日立製作所、毎秒一六ギガの光伝送が可能な世界最高速の半導体レーザーを開発。
4(土)●銀行など金融機関の完全週休二日制スタート。
5(日)●小山市でスーパーに爆弾を仕掛けたと脅迫し一五〇万円を奪おうとした中学二年生を逮捕。
6(月)●環境庁、アスベストを法規制対象に決める。
7(火)●最高裁、所得税の源泉徴収は合憲との判決。
8(水)●閣議、大喪恩赦の対象者一一〇〇万人を決定。
9(木)●漫画家の手塚治虫死去。
10(金)●文部省、新学習指導要領で国旗、国歌を義務化。
●宇都宮市で大谷石の採石跡が陥没。
11(土)●TBS、「いかすバンド天国」放映開始。
12(日)●参院福岡補欠選、消費税反対を掲げる社会党の渕上貞雄が自民党候補に大勝。
13(月)●東京地検、リクルート事件で前会長・江副浩正ら四人を贈収賄容疑で逮捕。
14(火)●ホメイニ師、『悪魔の詩』の著者に死刑宣告。
15(水)●ソ連軍、アフガニスタンからの撤退完了。
16(木)●横浜のNKK鶴見製作所で修理中の貨物船が爆発し炎上。一〇人死亡、一三人負傷。
17(金)●最高裁、新潟空港騒音訴訟で被害住民に初めて訴訟資格を認める(住民の請求は棄却)。
18(土)●東大学長選、籤引きで有馬朗人理学部教授に。
19(日)●大船渡市で三億五〇〇〇万年前の地層から、アジア初のウミサソリの化石発見。
20(月)●東京都、都内のゴルフ場の年間農薬使用量は一ヵ所平均二・二トンと発表。
21(火)●厚生省、副作用で一一人の死者を出した老人性痴呆症の改善薬を劇薬に指定。
22(水)●佐賀県教委、吉野ケ里遺跡で弥生時代では国内最大規模の環濠集落を発掘と発表。
23(木)●中国とインドネシア、国交正常化で合意。
24(金)●昭和天皇の大喪の礼が新宿御苑で行われる。
25(土)●消防庁、前年の火災による死者は二一一六人(放火自殺者九五五人)で戦後最悪と発表。
26(日)●橋本聖子、オランダのスピードスケート世界選手権で日本人女性初の銅メダル。
27(月)●むつ市の住民が原子力船「むつ」の実質的な廃船を求める訴訟を起こす。
28(火)●日銀、金融機関の不動産融資が再び二ケタに伸び、前年一二月には一二・五%増と発表。

▼行方不明の女子高生、コンクリート詰めで発見(3月30日)警視庁は綾瀬の少年二人を逮捕。女子高生を40日間監禁し4人で乱暴、殺害したと自供。供述どおり江東区の埋め立て地で遺体が発見された。

共同通信社

▲手塚治虫の葬儀に約1万人が参列(3月2日)東京の青山葬儀所には2月9日に死去した本人の遺影と、戦後日本の漫画界に大きな影響を与えた『火の鳥』『鉄腕アトム』など傑作の数々が掲げられた。

読売新聞社

共同通信社

▲釜石の火消える(3月25日)近代製鉄発祥の地として130年間燃え続けてきた新日本製鐵釜石製鉄所の溶鉱炉が閉鎖。鉄鋼合理化の波に洗われ、重工業のシンボルがまたひとつ消えた。

▼「生きた化石」シーラカンス解剖(3月23日)東アフリカ沖で捕獲、冷凍していた全長1.5メートル、体重60キロのメス。東京・新宿の国立科学博物館で行われた。

共同通信社

▲伊藤みどり、銀盤の女王に(3月18日)パリで行われたフィギュアスケート世界選手権最終日に、3回転半ジャンプに成功、欧米の強豪を押しのけて悲願の優勝を達成した。

共同通信社

平成元年3月

1(水)●三井物産のビエンチャン事務所長が現地の反政府組織に拉致される(8日救出)。
2(木)●浦和地裁、自衛官殺害の朝霞事件(46年)で竹本信弘(滝田修)に幇助の実刑判決。
3(金)●日銀、好況は来春まで持続との判断を示す。
4(土)●広島市の被爆したエノキが枯死、と新聞に。
5(日)●中国チベット自治区のラサで独立を求めるデモ隊と軍が衝突、暴動に(8日戒厳令)。
6(月)●IMF、日本の外貨準備高は連続一位と発表。
7(火)●国税庁、輸入洋酒業界各社に値下げを勧告。
8(水)●最高裁、法廷での傍聴メモは原則自由の判断。
9(木)●国土庁、地価上昇は七・九%で下落へと発表。
10(金)●都、築地川占拠のヨットクラブを強制撤去。
11(土)●JR東日本、新宿・渋谷駅で発車ベルを高品質のスピーカーからの明るい楽器音に変更。
12(日)●福岡地裁、山野鉱爆発事故(40年)で和解勧告。
13(月)●札幌市で初のアイヌ民族文化祭を開催。
14(火)●大阪地裁、知事交際費の全面公開を命じる。
15(水)●東京地裁、横田基地騒音訴訟判決で損害賠償を認めるが夜間飛行差し止め請求などは却下。
16(木)●NTTとKDD、テレビ電話の標準化に合意。
17(金)●松山地裁、靖国神社などへの玉串料の県費支出は宗教活動にあたるとして違憲の判決。
18(土)●伊藤みどり、フィギュアで日本人初の優勝。
19(日)●防衛大卒業式。任官拒否は過去最高の五一人。
●暴力団一和会が解散、山口組との抗争が終結。
20(月)●東京税関、前年の金貨輸入が急増し、一五・九トンで過去最高を記録と発表。
21(火)●宮城県松島水族館に国内一のペンギンランド。
22(水)●カネミ油脂症訴訟(53年)の原告三人が最高裁の和解案に応じ鐘淵化学と和解。
23(木)●警察庁、警官の勤務評定を地域密着度重視に。
24(金)●松下電器、各国共通のVTRを開発。
25(土)●横浜博、YES'89開幕(~10月1日)。
26(日)●東京・あきる野市の小学生が一七〇〇万年前の海獣「パレオパラドキシア」の頭部化石発見。
27(月)●TBS、ソ連宇宙船に搭乗取材の契約を結ぶ。
28(火)●各種共済年金の支給開始年齢が六五歳からに。
29(水)●大阪地裁、豊田商事事件(60年)で元社長ら五人に詐欺罪の実刑判決。
30(木)●警視庁、女子高生を監禁・殺害し、コンクリート詰めにして捨てた少年二人を逮捕。
31(金)●民間機関の調査で、六三年度の企業倒産が一五年ぶり一万件を割ったと判明。

▲また竹藪から9000万円見つかる(4月16日)現場は同じ月の11日に1億4521万円入りのバッグが見つかった川崎市高津区の竹藪で、警官が整理にあたるほど人が詰めかけた。

▶サンゴの落書きは捏造(4月20日)「朝日新聞」は西表島近海の「K・Y」と彫られたサンゴの写真を掲載、自然破壊の証拠と告発したが、翌月、捏造と認め謝罪した。

▲日本サッカーリーグ、日産自動車が初優勝(4月26日)本田技研を地元・横浜に迎えて1対0で快勝。またJSL杯、天皇杯と併わせて3冠も達成した。写真は喜びの日産イレブン。

▶人気漫才師・横山やすし、芸能界永久追放(4月17日)大阪市の国道を飲酒運転してミニバイクと衝突、運転手を負傷させた。たび重なる不祥事に所属会社・吉本興業はついに解雇した。

▼豪華客船時代幕開け(4月29日)日本最大2万3500トンの「ふじ丸」が東京・晴海埠頭から香港・台湾11日間の処女航海に出発。乗客300人の平均年齢は61歳。大手海運会社が時間をかけて旅を楽しむ人を対象に企画した。

平成元年4月

1(土)●初の大型間接税、三%の消費税を実施。●仙台市が東北地方初の政令指定都市に。
2(日)●アラファト議長、初代パレスチナ大統領に。
3(月)●タイとマレーシア国境に旧日本兵二人生存。
4(火)●九州地方大学生協(七大学加盟)が一円玉不足で共通一円券を印刷(8日実施)。
5(水)●気象庁、フロンガスの温室効果で二〇三〇年代には気温が一・五~三・五度上昇と発表。
6(木)●平均賃上げが四年ぶりに五%を突破と新聞に。
7(金)●WHO、長寿世界一は男女とも日本と発表。
8(土)●特殊法人役員の五五%が元役人、退職金が五年で一五〇〇万円と、天下りの実態が新聞に。
9(日)●青森県六ケ所村の「反核の日」に一万人参加。
10(月)●日本電気、最高速のスーパーコンピュータ「SX-3シリーズ」を開発、発売。
11(火)●川崎市の竹藪で一億四五二一万円を発見(16日にも九〇〇〇万円入りのバッグを発見)。
12(水)●東京都、臨海副都心開発事業化計画を発表。
13(木)●ハワイ州、前年日本人観光客が使った金は四〇億ドル、ハワイの全観光収入の四八%と発表。
14(金)●JR湘南新宿ライナーに英会話塾設置を決定。
15(土)●ソ連の週刊誌、戦前に岡田嘉子と亡命した杉本良吉は、拷問、銃殺されていた、と報道。
16(日)●環境庁、野鳥飼育に識別リングを義務づける。
17(月)●神奈川県の片瀬海岸で毎日新聞記者が暴走族に暴行を受け、翌日死亡(6月犯人を逮捕)。
18(火)●トヨタ、英国に初の工場建設と発表。
19(水)●国連主催の軍縮会議、京都で開催(~21日)。
20(木)●「朝日新聞」、沖縄のサンゴに落書きと報道。
21(金)●任天堂、液晶ゲーム機「ゲームボーイ」を発売。
22(土)●警察庁、全国で暴走族取締り、五六六人検挙。
23(日)●吹田市の二つのバイオ研究施設と住民が「公害が発生すれば研究中止」の協定を結ぶ。
24(月)●指揮者のカラヤン、ベルリン・フィルを辞任。
25(火)●竹下登首相、リクルート問題で辞意を表明。
26(水)●沖縄県、新石垣空港建設地をサンゴ群生地の白保地区からカラ岳東側へ変更と発表。
27(木)●自動車工業会、自動車輸出は三年連続減少、輸出比率も一〇年ぶりに五割を切ったと発表。●松下電器の創業者、松下幸之助が死去。
28(金)●自民党、衆院本会議で、平成元年度予算案を単独可決。憲政史上初めて。
29(土)●昭和天皇の誕生日、「みどりの日」で休日に。
30(日)●パリ・マラソンで小島和恵が日本最高で優勝。

証言・あの日この日
池波正太郎(66)

4月某日 〈夕刊に、東京都がテレポート・タウンをつくるという記事がのっている。これは、21世紀初頭に完成する副都市で、就業人口11万人、居住人口6万人という。川を埋めたてたら、今度は海だ。東京には必要のないことばかりを考える。東京は、もう開発してもらわなくともよい〉(池波正太郎『池波正太郎の銀座日記』)

バブルの日本は、池波に住み心地よいものではなかった。日課の散歩を終えて帰宅すると、〈消費税について講演の依頼、あとはマンションを買えという電話3回。世の中は、次第に狂って来つつある〉。中でも池波を悲しくさせたのは、再開発に名を借りた東京の街殺しだ。オリンピックの時の川に続いて今度は海を埋める。池波は、やはり下町出身の新都知事・青島幸男の世界都市博中止決定を見ることなく、1990年5月に亡くなる。(坪内祐三)

共同通信社

▲全国のカヌーが長良川河口堰反対デモ(5月5日)利水と治水を目的に前年7月に着工されたが、「唯一残ったダムなし川を守れ」と三重県長島町の現場に約320艇が集合、工事見直しを訴えた。

▶さようならジョイナー(5月14日)夫のアルとともに東京国際陸上を開催中の国立競技場に現れファンとお別れ。前年のソウル五輪で圧倒的強さを見せたが2月、突然の引退を発表していた。

共同通信社

▼女優・和泉雅子さん、北極点に立つ(5月10日)女性としては日本初、世界では二人目。厳寒の大氷原約800キロをスノーモービルとそりで62日目に到達。写真は成功目前の遠征隊5人。左から二人目が和泉。

共同通信社

▲30年ぶり中ソ和解(5月16日)民主化を要求する市民ら20万人が天安門広場に集まり騒然としている中国の北京で、ソ連共産党書記長・ゴルバチョフ(写真左)と中国最高実力者の鄧小平(右)が会談、長年の対立を修復、歴史的握手を交わした。

朝日新聞社

▼竹下首相が退陣表明(4月25日)リクルート事件による政治不信の責任をとると表明。朝日新聞が行った内閣支持率は史上最低の7パーセントに落ちこんでいた。

読売新聞社

平成元年5月

1(月)●郵政省、小包に通信文の同封を認める。
2(火)●東京証券取引所、一部上場株の時価総額が五〇〇兆円を突破し、世界一になったと発表。
3(水)●米通商代表部、電話機、光ファイバー、化粧品など対日制裁候補五八品目を公表。
4(木)●高層住宅の妊婦に異常分娩と東海大講師。
5(金)●厚生省、腎移植体制作りに本腰、と新聞に。
6(土)●国内最大の東京・大田卸売市場が開場。
7(日)●沖縄近海で一九六五年に水爆搭載の米海軍機が空母から落ち、水爆は未回収と米誌が報道。
8(月)●エイズ感染の血友病患者が、大阪地裁に初のエイズ薬害訴訟(10月28日東京でも提訴)。
9(火)●乗用車の保有台数が一世帯一台突破と経企庁。
10(水)●女優の和泉雅子、日本女性で初の北極点到達。
11(木)●明大ラグビー部員四人が二日、酔って通行人に一ヵ月の重傷を負わせたことが判明。
12(金)●ニュージーランドからマダイの活魚輸送開始。
13(土)●ロッテの村田兆治投手、日本ハム戦で完投し二〇〇勝を達成。史上二一人目。
14(日)●大卒の平均初任給が前年より四・七%アップし一六万円台に、と民間機関の調査。
15(月)●WHO、臓器売買禁止を求める決議。
16(火)●東京・練馬の派出所で警官二人が刺殺される(6月8日犯人の元自衛官を逮捕)。
17(水)●矢野公明党委員長、明電工疑惑などで辞任。
18(木)●JR、中央、総武など五線の完全冷房化を発表。
19(金)●『環境白書』で資源浪費からの転換を提唱。
20(土)●朝日新聞社、沖縄のサンゴ落書き記事(4月20日)は捏造として謝罪(26日社長辞任)。
21(日)●第一回ミス・ソ連に一七歳の高校生。
22(月)●警視庁、売春クラブをパソコンなどでOA化し四年間で六億円稼いでいた七人を逮捕。
23(火)●文部省認定のスポーツ指導者に六四〇人合格。
24(水)●全米初の銃規制法がカリフォルニア州で成立。
25(木)●米通商代表部、日本を不公正貿易国として、新通商法・スーパー三〇一条の対象国に指定。
26(金)●東京都、初のアスベスト飛散防止策を制定。
27(土)●東京湾横断道路(川崎—木更津間)起工式。
28(日)●中曽根前首相、リクルート事件で離党を表明。
29(月)●長崎県五島列島にベトナム難民ら一〇七人を乗せた小型漁船が漂着。
30(火)●日銀、円安抑制で公定歩合の〇・七五%引き上げを決定、年三・二五%に(31日実施)。
31(水)●公害資源研、初のフロンガス完全分解に成功。

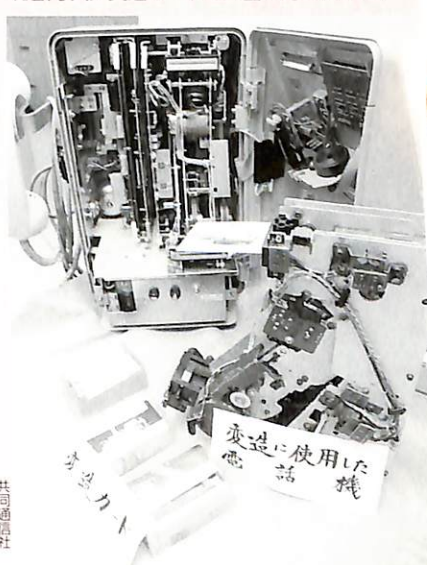
6月

◀「歌謡界の女王」美空ひばり逝く（6月24日）3月、ラジオで「引退はない」と述べたまま入院、ついに不帰の人になった。死因は肺炎、52歳。写真は東京・目黒のひばり御殿に戻った遺体を囲むファン。

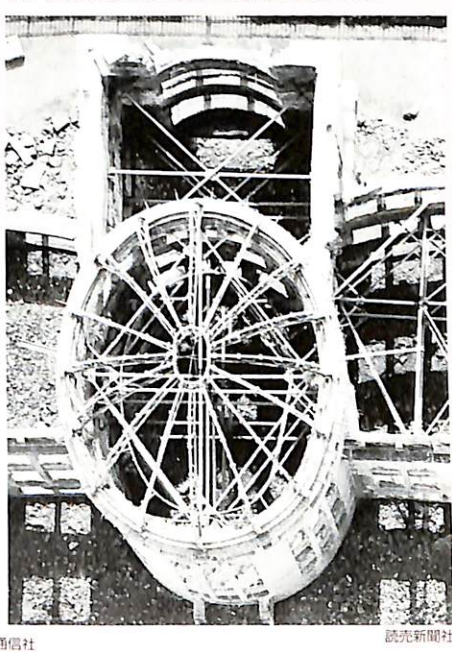
読売新聞社

共同通信社

▲イラン最高指導者ホメイニ師が死去（6月3日）1979年に王制を倒し、同年2月の帰国以来10年にわたって絶対的指導者としてイスラム革命を主導した。86歳だった。

▼テレホンカード変造事件で新たに7人逮捕（6月23日）主犯はパソコン通で、カード式公衆電話を盗み、約40倍の度数増加機に改造(写真)、変造カードを大量に売っていた。

共同通信社

◀株主総会で日米「投資摩擦」（6月29日）トヨタ系自動車部品メーカーの小糸製作所の株主総会に米国人筆頭株主が出席、取締役就任を迫ったが拒否され、内外に日本の閉鎖性を示すことになった。

▼原爆ドーム補修募金（6月1日）上空580メートルで原爆が爆発、被害の恐ろしさを伝える貴重な遺構に対し、広島市民が5月に2度目の補修を呼びかけ、この日までに約3270万円が集まった。

読売新聞社

朝日新聞社

▼宇野宗佑首相誕生（6月2日）リクルート事件の責任をとって辞任した竹下の後任として自民党議員総会で選ばれた。写真は任命式を前に笑顔で散髪する宇野。しかし翌月には女性問題と参院選惨敗で辞任した。

共同通信社

平成元年6月

1（木）●日本初の賞金つきの卓球大会が鳥取市で開催。

2（金）●宇野宗佑内閣が発足（一一人が初入閣）。

3（土）●北京の天安門広場で人民解放軍が、制圧開始（4日未明市民や学生に発砲、死傷者続出）。

4（日）●ソ連でパイプライン爆発、付近を走行中のシベリア鉄道の二列車が吹き飛び死者六〇〇人。

5（月）●預け入れの際の金利が変わる預貯金発売。

6（火）●閣議、一九九八年冬季五輪の長野招致を了解。

7（水）●三菱電機、半導体洗浄の脱フロン装置を開発。

8（木）●国税庁、前年の相続税の課税遺産総額は初の八兆円台で前年比二二㌫増と発表。

9（金）●参院本会議で社会党・久保田真苗議員が宇野首相に女性問題を質問（首相、全面否定）。

10（土）●国税庁、酒の小売店の営業基準を大幅に緩和。

11（日）●埼玉県飯能市の霊園で野本綾子ちゃん（行方不明時四歳）のバラバラ死体を発見。

12（月）●国土地理院が五九の山の高さを修正。浅間山は七五㌢、地蔵ケ岳は二四㌢高くなる。

13（火）●鉄鋼大手のボーナス、史上最高の一二六万円。

14（水）●中小企業の経営者の子弟を対象にした「財界二世学院」が東京に開校。

15（木）●JR東海道本線の普通車が全車禁煙になる。

16（金）●カリフォルニア州の語学学校に留学中の名古屋市の女子高生が銃で胸を撃たれ死亡。

17（土）●野党四党、政治資金規正法改正案をまとめる。

18（日）●サハリン残留韓国人が永住帰国で釜山到着。

19（月）●六三年度のGNPは五・一㌫の伸びと経企庁。

20（火）●最高裁、茨城県の百里基地訴訟で、自衛隊の憲法判断を回避、住民の上告を棄却。

21（水）●警視庁、三〇〇人に無資格でイレズミ・メイクしていた美顔サロンの女性経営者を逮捕。

22（木）●厚生省、癌の死者が二〇万人台突破と発表。

23（金）●第三世界の人口が四〇億人超と厚生省推計。

24（土）●歌手・美空ひばりが肺炎で死去。

25（日）●総理府の調査で首都移転賛成は三三㌫。

26（月）●自然保護協会、初の全国野生植物調査で、一七㌫、八九九種が絶滅か絶滅の危機と発表。

27（火）●八八億円の赤字を出した北海道「食の祭典」で、横路知事含め三～五割の減俸処分。

28（水）●下関のゴルフ場が入会資格の国籍条項を削除。

29（木）●運輸省、切符の予約・購入や病院の順番取りなどタクシーの副業を条件つきで認可。

30（金）●横浜市内で一億七五〇〇万円入りの金庫を発見（7月持ち主は創価学会総務と判明）。

20世紀博物館

水島衣裳雑貨博物館

五万点もの着物・雑貨や写真が語る女系三代の生活文化

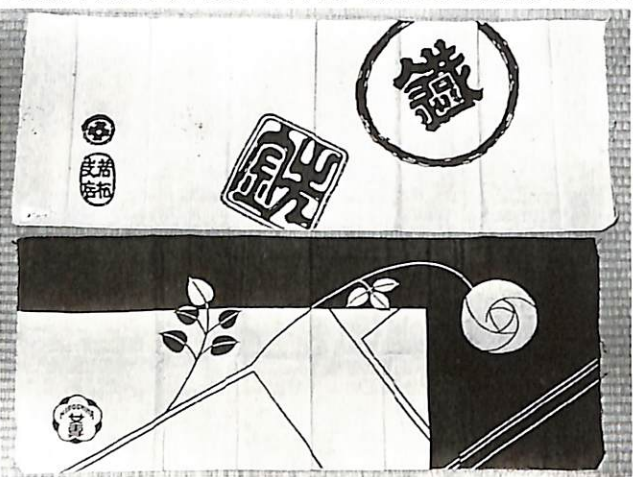
東京・港区

桑原茂夫

◀素肌の上にじかに着る浴衣。紺地に白の模様。着方に工夫がいる。

▼手拭い。大胆でしゃれたデザインだ。明治から大正にかけてのもの。

都心の高台にあるマンションの一室が博物館になっている。一〇四号室のドアを開けると、そこが博物館なのだ。二〇畳ほどの板の間が広がっていて、壁沿いに、その時の展示テーマによる着物や浴衣がかけられ、パネル写真が並べられている。一見、これが博物館？ と疑問符を打ってしまうのだが、板の間の中央で館長の正田佳世さんの話を聞くにつれ、それがあさはかであったことを知る。

何しろ、正田さんのお母さんで、今は亡き水島千代さんからさかのぼって三代にわたる女性が使ってきた着物や帯、それに、帯留め、足袋、手拭い等々、衣装雑貨の類が、展示スペースの背後に五万点も所蔵されているのだ。

ここは、明治から大正、昭和にかけて続いた女系家族の三代記が、ものや写真とともに語られる、まさに生活文化の博物館でもあるのだ。

〝博物館〟にすることは、正田さん自身が決めた。公的な博物館に寄贈するのではなく（実際、国立歴史民俗博物館や都立江戸東京博物館からのひきあいもあった）、自分の手で所蔵し展示していくことにしたのは、その衣装雑貨の類が自分とともに生きていることを実感したからであるという。

抽象的な話ではない。

たとえば、お母さんの遺していった着物を羽織り、袖に腕を通す時、お母さんの生命をそこにはっきり感じ取れるのだという。だから「私が自分で博物館をやるのが一番だと思った」そうだ。

この博物館の特徴のひとつに、どんな衣装でも、それを着ている人の写真を添えて展示するという方法がある。

もちろんそれを可能にしているのは、古くからの写真が残されているからで、もっと言えば、まだ写真が高価な時代によくぞここまで、と思うほどたくさんの写真（アルバム五〇冊分！）を撮っていたからだが、それには理由がある。

正田さんの曾祖母にあたる水島琴さんの生きていた明治時代から、新しい着物を着るということはすなわち写真館に行って撮影してもらうことだったのだ。いわばステージに上がるような、晴れやかな時間を着物とともに持ったのである。

膨大な衣装を整理している時、正田さんはそのひとつひとつを、写真と照合して、誰がどのように着たものなのか、調べていったそうだが、目の前にした色彩豊かな着物の柄と、モノクロームの写真に撮られた着物の柄がぴたりと符合した時の感動には、何ものにも代えがたいものがあったという。ものが自分とともにあるということを実感する瞬間でもあった。こうした感動も、自分で博物館を始める動機になったようだ。

そして今、正田さんは、衣装や雑貨に対する考え方や、具体的な着方、つけ方まで、若い人にも積極的に提案し、語りかけている。この博物館は、そんな活動的な面も持っているのである。

●水島衣裳雑貨博物館
東京都港区南麻布五―五―二〇
麻布コーポラス一〇四
☎〇三―三四七三―四二六〇
地下鉄日比谷線広尾駅下車、徒歩五分
開館時間＝一一時～一六時　電話予約制
休館日＝木曜日、お盆、年末・年始

▲大正期、祖母・阿以。羽織と派手な色の半襟で地味な着物とバランスを。

▲明治31年、曾祖母・琴。半襟を見せる着こなしで、この頃は半襟があでやかだった。

▼正田佳世さん。お母さんが戦時中着ていたモンペを仕事中身につける。

▼昭和6年、母・千代。裾が長く草履にかかっている。全体に派手な色目。

ベストセラー

『TUGUMI』が代表 新しい“感性”へ期待が高まる

この年出版界を揺るがす大きな出来事があった。吉本ばななのベストセラージャックである。単行本を刊行し始めるや、ミリオンセラーの連発という現象はきわめて珍しく、これがセンセーショナルに取り上げられたのも当然のことだった。

『TUGUMI』は、この年の三月に刊行され、またたく間に版を重ねたが、その直前まで女性誌「マリ・クレール」で連載されていた。この当時「マリ・クレール」は、バブル期で舞い上がっていた時代の雰囲気に無縁であるかのような、高踏的な編集をする女性誌として注目されており、吉本ばななが活躍するのにふさわしい場だったということもできる。

『TUGUMI』の中で、少女つぐみが、周囲から隔絶されることをみずから望んでいるかのような言動をとり続けたのも、若い読者に歓迎された理由のひとつなのかもしれない。ナイーブなわりに行動的な面もある少女と、作者・吉本ばなながここではダブって見えるのだった。

またこの年、地味だがよく売れたものに『人麻呂の暗号』がある。若い女性のグループ（藤村由加）が、万葉集の謎に迫ったもので、歴史への斬新で大胆な視点が注目された。

歴史というと、全集もので、石ノ森章太郎のマンガによる『マンガ日本の歴史』の配本が始まり、話題を呼ぶとともにロングセラーへの道を歩み始めた。全四八巻に現代篇七巻を加えた本格的なラインアップの背景には、マンガを未来の中心的メディアと位置づけるスタッフの強い確信があった。石ノ森章太郎自身、マンガを「漫画」ではなく「萬画」と称すると宣言し、その可能性の大きさや広さを印象づけた。

●平成元年のベストセラー

順位	書名（著者／出版社）
1位	『TUGUMI』（吉本ばなな／中央公論社）
2位	『キッチン』（吉本ばなな／福武書店）
3位	『消費税こうやればいい』（山本雄二郎／青春出版社）
4位	『時間のスナッチバック（上・下）』（シドニィ・シェルダン／アカデミー出版）
5位	『白河夜船』（吉本ばなな／福武書店）
6位	『うたかた／サンクチュアリ』（吉本ばなな／福武書店）
7位	『哀しい予感』（吉本ばなな／角川書店）
8位	『消費税 実務と対策はこうする』（山本守之／実業之日本社）
9位	『ノルウェイの森（上・下）』（村上春樹／講談社）
10位	『人麻呂の暗号』（藤村由加／新潮社）

全国出版協会出版科学研究所

▲『TUGUMI』（中央公論社、1000円）

▲『人麻呂の暗号』（新潮社、1200円）

▲『マンガ日本の歴史』（中央公論社、1000円）

スターと名場面

大林宣彦やビートたけしが作り出した“幻想的”な映像

百貨店パルコがプロデュースした映画「ウンタマギルー」（高嶺剛監督）は、昭和四四年の日本復帰を前にした頃の沖縄を舞台にして、神話的な世界を展開しているが、妖怪や魔術やファンタジーを生む自然と、政治的な権力が支配する現実とが交錯する映像には、新鮮で不思議な感覚があふれていた。交わされる言葉が琉球語で、日本語字幕スーパーとなっているのも効果的だった。

これとは違った角度から現実的な問題を突きつけたのは、大林宣彦監督の「北京的西瓜」だった。中国人留学生たちと、その厳しい生活を見かねて援助の手を差しのべる八百屋さん夫婦との交流を、ほとんど現実を切り取る形で撮影したこの作品は、その手法にもかかわらず、奇妙に幻想的だった。そのような現実がすでに幻想的な世界だったのかもしれない。

北野武（ビートたけし）が初めてメガホンをとった「その男、凶暴につき」も、その暴力シーンはリアルだが、どこか夢のような映像になっている。なお、この年の映画界では、この北野武をはじめとして、和田勉、鴻上尚史、長部日出雄ら、他分野からの監督進出が目立った。

また歌の世界では、ブラジル出身のマルシアが登場、国際化時代を印象づけた。

パルコ提供

▲森や土が生きている世界を描き出した「ウンタマギルー」。中央が主役の小林薫。

P・S・C提供

◀「北京的西瓜」で八百屋夫婦を演じるベンガル（右）と、もたいまさこ（左）。

松竹提供

▶「その男、凶暴につき」で監督、主演した北野武。その映像感覚は、国際的にも高く評価されている。

◀ブラジルからやって来て、日本の歌を歌いヒットさせたマルシアのデビュー盤「ふりむけばヨコハマ」。

日本コロムビア提供

モノ語り'89

「フラワーロック」「清潔美人」「はちみつレモン」時代は清潔・健康プラス遊び感覚へ

◀**健康飲料はさらにブームに**　「はちみつレモン」（190グラム入り100円）という名称からしていかにも健康的な飲料がサントリーから発売されたのは、昭和61年だが、爆発的ヒットとなったのはこの年だった。前年比3倍という急伸ぶりは、健康に関心が高まった年であることを示している。

▲**軽量のスポーツカーという矛盾**　自動車も一家に1台は当たり前となった時代に、これまでの発想にとらわれないクルマを作ろうというコンセプトで、開発担当者たち自身がほしいクルマをめざして開発されたのが、マツダの「ユーノスロードスター」だ。スポーツカーといえば、重量級のイメージだったのを、むしろ軽量にして、動きたい方向に楽に動ける〝人車一体〟感覚を強調し、若者を中心に受け入れられた。価格は170万円（東京・広島）だった。

▼**テレビゲームがさらに身近に**　昭和58年に「ファミリーコンピュータ」を発売し、これを大ヒットさせるとともに、テレビゲームを身近で高度なゲームというイメージに変えていった任天堂は、この年、屋外でも遊べるハンディタイプの液晶ゲームマシン「ゲームボーイ」（1万2500円）を発売し、テレビゲームそのものを、新しいエンターテインメントとして定着させ、その人気を不動のものにした。

▲**自分の手で簡単にビデオ撮影**　テレビ番組の録画で楽しむビデオから、自分で撮影して楽しむビデオへと、ビデオの利用範囲をぐんと広げたのは、ソニーの「ハンディカム55」だった。持ち歩きに便利なビデオカメラを、という意図で開発されたもの。大きさはパスポートサイズで800グラム弱と、小型・軽量のわりには、ズームやオートフォーカスなど、一般の撮影には過不足ない機能を持っていた。16万円という手頃な価格に、折からの旅行ブームが加わり、女性の人気も抜群だった。

▶**働け働けの飲料が大ヒット**　「24時間、戦えますか」のコピーとともに大ヒット商品となった三共の栄養ドリンク「リゲイン」は、50ミリリットル入り300円。つまりちょっと高めのドリンクだったが、いかにもタフそうな時任三郎のテレビCMはあまりにもパワフルで、疲れたビジネスマンを引きつけてしまった。

◀**まさかブラウスまで抗菌とは**　この頃のトレンドを表すキーワードとして「清潔」がある。朝出勤・通学前の髪洗い、いわゆる朝シャンはその象徴的流行だったが、ブラウスにもそのキーワードがいかされた。東京ブラウスが抗菌防臭ブラウス「清潔美人」を発売し、女性たちのニーズを掘り起こすのに成功したのである。価格も従来品と変わらず1万1000～1万8000円だった。

▶**音に反応してくねくねと**　30センチほどの高さの花のキャラクターが、周囲の音に合わせてくねくねとその身を動かす「フラワーロック」がタカラから前年に発売され、3800円と高価な玩具であったにもかかわらず、この年爆発的ブームに。すでに昭和62年に同じタカラから発売されたキャラクター商品「のらくろロック」が、この手の玩具の先陣を切って人気を博しており、さらに身近なものをと、花を踊らせ成功した。

人物クローズアップ

西澤潤一（六三）

「産業は学問の道場である」が信念 文化勲章を受けたミスター半導体

一一月三日、この年の文化勲章は、電子工学の権威として知られ、「ミスター半導体」「光通信のパイオニア」と呼ばれる、西澤潤一（六三）ら五人に贈られた。

大正一五年九月一二日、宮城県仙台市に生まれた西澤は、昭和二三年、東北帝国大学工学部電気工学科を卒業。同大電気通信研究所助手・助教授を経て、三七年、同教授、五八年から二度にわたって同研究所長をつとめた。平成二年には、東北大学第一七代学長に就任し、研究第一主義と人材育成、の教育方針を掲げて学内の改革に取り組み、八年一一月五日、六年間の任期を終えて退官した。

▼左から父・恭助、潤一、姉・澄子、弟・恭二、母・秋子（昭和10年）。

アメリカのベル研究所がトランジスタの実験成功を発表した昭和二三年から約半世紀におよぶ、西澤の半導体に関する研究は、綿密な電子材料の基礎研究から、工学的な応用開発への道をみいだしていくところに、その特徴がある。

現在、最先端技術の典型としてもてはやされている光通信の基本三要素（発光素子、伝送路、受光素子）は、いずれも西澤が一人で発明した。すなわちpinフォトダイオード（昭和二五年）、電子なだれ現象の発見とアバランシュフォトダイオードの基礎式発表（二七年）、半導体レーザー（三二年）および収束性光ファイバー（三九年）である。

五八年には、静電誘導トランジスタと光ディバイスの開発によって、固体電子工学のノーベル賞と言われる、アメリカ電気電子技術者協会のジャック・A・モートン賞を受賞している。

しかし、三二年に半導体レーザー、三九年に光ファイバーの特許を出願した時には、学会の常識と合わないため異端視され、その後の企業の反応も冷淡だった。

「当時は、実験費も研究費もありませんので、ある企業へ資金援助のお願いに行った時、『この発明はできるかどうかわからないから、お金は出せません』と断られたんです。作ってみせるために、資金援助をお願いしているわけですから、あの時は本当にくやしかったですね」

と西澤は当時を振り返る。

半導体レーザーは、昭和三七年にアメリカで具体化された。これを機に、産学協同への考えがさらに強くなったという。

「新しい技術の研究や開発は、大学と民間の協力、つまり企業との提携が不可欠です。大学での基礎研究と企業での応用開発は、独創技術発展の車の両輪のようなもので、まさに産業は学問の道場」との確信に基づく研究成果が、情報通信の急速な変革に結びついたと言えるだろう。

今後は、みずからが設立した㈶半導体研究振興会半導体研究所で、自分の研究に専念する。「学長の時には、事務の仕事が多くて、多少、欲求不満だったんですよ」と笑った。

▶「研究は金じゃない。古い機械を大切に使うのは、自慢すべきことだ」が持論。半導体研究所試作実験室にて。 熊切圭介

▲11月3日、文化勲章授与式に際して、皇居入りする西澤潤一氏と竹子夫人。共同通信社

決定的瞬間

戦車の前に立ちはだかったワン・ウェリン(一九)はどんな運命をたどったか

六月四日の惨劇から一夜明けた天安門広場前には、単身で戦車の前に立ちはだかり、その行く手を阻む若者の姿があった。それは、暴挙への抗議と民主化への願いを象徴していたのではなかったか。

天安門事件に関する数多くの報道写真の中で、この写真は世界の人々に大きな感銘を与えることになった。

決定的な一瞬をとらえたのは、現在はフリーカメラマンのチャーリー・コール。この写真は「ニューズウィーク」誌を飾り、一九八九年の世界報道写真賞を受賞した。またマグナムのメンバーであるスチュアート・フランクリンやAPのカメラマンも同じ場面を撮影している。一部の雑誌では、この若者をワン・ウェリン(一九)としているが、確証はない。彼がその後どういう運命をたどったかも定かではない。

「この青年は、絶対多数の中国人、そして正義を求める世界の人々に共感を与えました。彼は戦車の人民解放軍兵士に対し、"何をしに北京に来たのか" "誰が命令したか" などと責問したといいます。いたるところでこうした光景は見られました。しかし、この青年たちの抗議は中国政府に通じたのかといえば疑問です。経済の解放は進んでいますが、一〇年近くたった今、その実態は貧富の格差や失業者が増大し、権力者たちの抗争も激しく、真の民主化への道は多難です」

中国にも幅広い人脈を持つ在日華僑作家の夏之炎氏は、この青年の姿に民主化への熱い思いを投影する。

事件から二ヵ月後、「北京日報」は、北京市長・陳希同が人民代表大会常任委員会第八回会議の席上で行った、学生・市民の排除状況に関する報告書を掲載した。「戒厳部隊は広場東南に通路を設け、学生たちが安全に離れられるようにした。五時半には排除の任務は完全に終了した。広場で座りこみを続けてきた学生は、最後に強制的に撤退させられたものも含め、一人として死んだものはいない」

その後さまざまな形で公表された報道や証言はこうした政府側の詭弁を打ち砕く。六月五日の香港紙「文匯報」に掲載された清華大学の学生の証言によれば、「囲みを突破した三〇〇〇人余りの学生・市民のうち、最後に外までたどり着けたのは、わずか一〇〇〇人に満たなかった。軍用自動小銃が背後から追いかけるように逃げる学生を撃ち殺し、学生たちは折り重なった死体の山を踏みつけて前に進むしかなかった」という。

学生たちの中には柴玲さんなど外国へ逃亡した人も多く、支援運動は世界各地で展開された。日本でも中国留日学生民主促進研究会などを中心に、戦車の前に立ちはだかるこの青年の写真をテレホンカードにし、資金カンパを呼びかけた。

当時、銃弾の嵐の中で取材し、その惨状をテレビで伝えたテレビ朝日の川村晃司氏は、「歴史の歯車を逆回転させたような天安門事件という "ボタンのかけ違い" はあったが、学生・市民の尊い犠牲はその後の中国の民主化・改革路線の礎になった」と語っている。

▲6月3日から4日未明にかけて、北京の天安門広場で戒厳部隊が実力行使に乗り出し、血の惨劇が繰り広げられた。それから一夜明けた5日、戦車の前に立ち、その行進を阻む一人の若者の姿があった。チャーリー・コール SIPA PRESS オリオン・プレス

ISSEY MIYAKE 1989

◀八九年春夏コレクションのポスター。アービング・ペンが撮影にあたった。デザインは田中一光。

美の出会い

デザイナー・イッセイの飛躍
機能性と美しさの極致
革命的な「プリーツ」誕生!

すでに世界的な名声を博していた三宅一生にとって、昭和六三年(一九八八)は、九〇年代に向けて新しい一歩を踏み出した年だった。この年は昭和一三年生まれの彼にとって、五〇歳を迎える年でもあった。

一九八八年の秋、パリ、次いで東京で行われた「八九年春夏コレクション」で、彼はこれまで見たことのないプリーツのかかった服を発表、観客はその斬新さに目をみはり驚嘆した。

モデルの身体全体をおおったプリーツの服は、モデルの身体の動きに応じて、つかず離れずついてまわり、時にしなやかに流れ、そしてダイナミックに躍動し、不思議なシルエットを描いていった。その動きは、このうえなくスリリングであり、同時に、優雅さをたたえ、これまでにない機能と美しさを具えていた。そこには、これまでのファッションの常識をくつがえす革新的なもの、未来の服のありようを予感させる何かがあった。

東京のコレクションを見た現代構造研究所の三島彰所長は、この時の衝撃を次のように記している。

「それは私にとって何よりテクノロジカルな興奮だった。(略)新しい服作りへの予感を湛え、服とそれをまとう女の意味とその表現を変えてしまうだけの衝撃力をもっていた」(「繊研新聞」昭和六三年一二月五日)

一九七〇年代に三宅一生は、肉体と服の新たな関係を模索し、東洋と西洋という枠組みを超えた「一枚の布」というコンセプトの衣服を発表した。それは同時にヨーロッパのファッションデザインへの異議申し立てでもあった。しかし、九〇年代を前にしてファッションデザインが時代の寵児になり、みずからデザインする服も大衆から離れていくことにきづいた彼は、同時に一シーズンで店頭から流行の服が消え去っていくファッション界のありように虚しさをおぼえていた。

何か予感するものがあったのだろう。一九八八年、彼は単身でギリシア旅行に出かけた。この旅行を通して、彼は服作りの原感覚を取り戻す。新しい時代の新しい価値観に立った服作りにチャレンジしようという気になったのである。それは、大衆とともに生活する服、着るものが喜びや感動を得られる服を作るためのデザイナー像の確立でもあった。彼は、流行の服作りではなく、二一世紀への橋渡しとなるような衣服を追求しようと決意する。

プリーツとは、襞のことで、スカートによく使われている。そもそもプリーツの歴史は古く、古代エジプトやギリシア彫刻にも見られるように、長い伝統を持ったデザインである。二〇世紀の初めには、イタリアのフォルチュニーが、絹を使った手作りの傑作、「デルフォス」を完成させている。

従来のプリーツの服は、布地にあらかじめプリーツ加工をして、それを縫って服に仕立てていたのであるが、三宅一生はそれを逆転させた。彼はまず最初に一枚の布を裁断し、縫製し型を作ったのである。その後、イメージにあわせて折りたたみ、それからハイテク技術を駆使してプリーツをかけて作りあげるという革新的な方法をあみ出したのである。

八九年春夏コレクションに「イッセイ・プリーツ」を登場させて以来、毎コレクション、さまざまな型や風合いのプリーツが展開されてきた。研究と実験の繰り返しの中から九三年に「プリーツ・プリーズ」がプロジェクトとしてスタートした。

こうして作られたイッセイのプリーツ・プリーズは、袖を通すとサラサラとはがれ、美しいシルエットを表してくる。着てみて美しく楽しいだけでなく、軽くて、手入れは簡単。洗濯機で水洗いしてそのまま乾かせばよし。たためばスカーフと同じくらいに小さくなる。衣服としての美しさと、現代的な機能性をみごとに具えているのだった。

生活の中で第二の肌となるような服、ジーンズやスニーカーよりも幅広い用途があるような服を追求すること。三宅一生がみずからに課したテーマである。

▲89年春夏コレクション。 藤塚光政

「現場」を歩く
宇都宮
採石場跡が大陥没した大谷町の"地震"対策

山本徹美

▲現在は使われていない大谷石の加工場。▼平成元年2月10日、大音響とともに陥没した宇都宮市の大谷石採石跡。共同通信社

平成元年二月一〇日午前八時四〇分すぎ、「ドーン」という大音響とともに地響きが宇都宮市大谷町坂本地区を襲った。道路脇で幼稚園の送迎バスを待っていた数人の園児たちは悲鳴をあげ、大気中にたちこめた粉塵にむせた。そこからほんの一〇メートルばかり先には、直径約一〇〇メートル、深さ約三〇メートルの巨大の窪みが出現。なんと地下にあった大谷石採石跡で陥没事故が発生したのである。

この落盤で、渡辺石材の加工場が倒壊、電柱が倒れて五〇〇世帯が停電したが、幸いに死傷者は出なかった。

平成八年一二月、大谷町の事故現場を訪ねてみた。公道から分岐した細いアスファルト道を行くと、途中でもぎ取られたように舗装が消失し、赤土とススキの原にとって代わる。そこが落盤箇所だった。周囲は黒と黄色で編んだロープが張りめぐらしてあるだけ。

市に問い合わせたところ、ここは立ち入り制限区域に指定してあるという。

「関係者は立ち入ってもいいが、危険を察知したら出てください、という意味なんです」

現場付近には今も民家が建ち並んでいる。自宅の地下が空洞で、いつ落ちるかしれないとなるとつねに不安では、と、ある商店主に訊くと、笑いとばされた。

「それをおそれてた日にゃ大谷では暮らせない。むしろ、あの事故以来、さっぱり景気が回復しない。お客でにぎわっていた頃が遠い昔のようだねぇ」

今や日本一の安全地帯

大谷石は凝灰岩の一種で、産地は唯一この地のみ。奈良時代から採掘され、ピーク時の昭和四五年には年産七八万トン、一五六社、従業員一七〇〇人を数えたが、その後は漸減。平成七年度の実績は二一万トン、売上高四四億円。三六社で従業員はわずか三二一人にすぎない。

陥没部分は土砂で埋めてあるが、その処理をめぐって、栃木県と宇都宮市、被害者の間で、もめたという。陥没箇所は明治・大正期に掘られたもので、責任の所在がはっきりしないためだった。

結局、当時、大谷石石材協同組合の組合長だった細谷美夫氏（現・市議）が土建業者とかけあい、建築残土の廃棄場所として提供、一件落着した。一方、平成二年、大谷地域整備公社を設立、採石場一一〇ヵ所に地震計が設置され二四時間態勢で観測するシステムが起動した。同公社によると、震度一以下の微動もキャッチし、警報装置が作動するそうで、「振動が長期間続き、一ヵ月くらい無振動期があった後、いきなり落盤というパターンが判明しています」と言う。平成八年一一月八日の落盤もみごとに予知し、犠牲者は出なかった。工場が陥没した渡辺石材の渡辺修氏がいみじくも指摘する。

「地震、落盤に関しては、大谷が日本一安全だと思いますよ」

市がロープを張るだけの大ざっぱな対応をしていたのも頷ける。科学の裏づけによって住民は、おびえることなく枕を高くして眠れるというわけである。

大蔵省は一円玉3億枚を増産！
不安と苦情の中で「消費税3パーセント」がスタート

▲平成1年11月11日11時11分。消費税がスタートしてから約7ヵ月たった1並びの日、九州のエフコープ生協では、一円玉で看板を作り、消費税反対を訴えた。読売新聞社

平成元年四月一日、消費税三パーセントがスタート。商店やデパートなどでは開店と同時に消費税が上乗せされ、鉄道料金も改訂されるなど、国民生活に大きな影響を与える戦後初の大型間接税導入である。直接税を中心とするシャウプ勧告の採用以来四〇年、戦後税制の大転換であった。

相次ぐ苦情の電話 政府は懸命のPR

消費税導入を答申した当時の政府税制調査会委員で千葉商科大学学長の加藤寛氏は、消費税導入の目的について次のように語る。

「いちばんの目的は、税の直間比率を是正するということでした。特に比較的所得の高いサラリーマン層の税金への不満が多いため、所得税を引き下げて不公平感をなくす一方で、税金を払っていない人からも公平に税を徴収し、全体としての税収を上げるようにしたのです」

ところが、庶民にとっては、将来の見通しよりも、三パーセント余分に税金を取られることへの抵抗感の方が強かった。

四月一日が近づくと、日本各地でさまざまな光景が展開された。税金がかけられる前に定期券を買い求めようと、駅の窓口はごった返し、釣り銭不足を解消しようと「社員一人一〇〇枚」のノルマで一円玉をかき集めたデパートもあった。

こうした事態を予測していたかのように、大蔵省造幣局は昭和六三年度中に前年の約三億枚増、一四億枚の一円硬貨を製造していた。

町の表情をリポートした「朝日新聞」

大蔵省は一円玉3億枚を増産！
不安と苦情の中で「消費税3パーセント」がスタート

によると、四月二日、東京・六本木のファースト・フード店ではこんな一幕もあった。そこの店員の弁。

「午前零時すぎ、二〇〇円のコーヒーを求めたお客さんに『大変申し訳ありませんが、消費税六円を足して二〇六円になります』と告げると、『えー、エープリルフールじゃないの。帰りに返してくれるんでしょ』と言われてしまいました」

苦情も相次いだ。朝日新聞社内に設置された「消費税ダイヤル」には「便乗値上げがひどい」と怒る主婦、「仕事が減り、従業員二人をクビにした」と言う中小企業経営者、「子どもたちからは税金を取れない」と泣く文房具店主など、二〇〇本を超す電話が殺到。経済企画庁など関係各省庁に設けられた相談窓口にも苦情電話が次々かかり、たとえば通産省の消費税相談室の三本の電話にはこの日一日で約一五〇本の電話があったという。

国民や野党の強い反対を押し切って消費税導入を決定した政府側は、消費税導入のメリットを懸命にPR。竹下登首相は、この日、東京・日本橋のデパートに出向き、ネクタイ一本（一万五〇〇〇円、消費税四五〇円）と塩ざけ六切れ（二〇〇〇円、消費税六〇円）を買い求めながら、消費税への理解を求めるというパフォーマンスまでしてみせたのである。

自民党のあくなき挑戦
三度目でついに実現

そもそも消費税は、昭和五三年、大平内閣時代に、自民党が、「五四年度税制改革大綱」で一般消費税の五五年度実施を明記したのが始まりであった。

昭和五四年四月一日には、五五年度からの実施を閣議決定、同年一〇月の総選挙にのぞんだが、与党までが、「これでは選挙を戦えない」と猛反発。大平首相は遊説先で、一般消費税の導入断念を明言せざるをえなかった。しかもこの選挙で自民党は過半数割れの惨敗、これを受けて衆参両院は「財政再建は一般消費税によらず」と決議した。

次の鈴木内閣では鳴りをひそめていたが、中曽根内閣の後半になって消費税問題は売上税として再浮上。しかし、結局廃案。自民党政権にとっては三度目の挑戦であった。

六三年六月、竹下内閣は「減税」とだき合わせた消費税導入を柱とする税制改革関連六法案を国会に提出、一一月一六日、社会・共産両党が欠席のまま衆議院で法案は可決。一二月二四日、参議院では、社会・共産両党が抵抗したものの、午後五時五九分に自然成立、翌年四月一日からの実施が決定したのである。

▲消費税施行前日の3月31日、臨時休業して社員総出で価格の書き変えに忙しい浦安市のスーパー。朝日新聞社

▲消費税のスタートで、脚光をあびたのが一円硬貨。各商店は釣り銭用に一円玉をかき集め、銀行は両替ラッシュで、パニック状態になった。日銀では3月中に前年同月比8倍近くの4億7000万枚を放出。共同通信社

まずは消費税を導入
問題解決は先のばし

消費税は所得税減税や物品税の廃止とセットで導入されたが、この税制改革による国庫の収支は減収分が九兆二〇〇〇億円、消費税による増収分六兆六〇〇〇億円、差し引き二兆六〇〇〇億円の減税になることが予算に盛りこまれた。

ちなみに、特別減税も実施された平成六年度の家計調査では、年収七〇〇万円の夫婦と子ども二人の標準世帯では、消費税の負担分が年間一二万円、所得税の減税分が一〇万六〇〇〇円となっている。

かねてから所得税と法人税の不公正を正すだけで、欠陥だらけの消費税を廃止できるだけでなく、大部分のサラリーマンの勤労所得税もなくせると主張している中央大学名誉教授の富岡幸雄氏は、「政・官・業の入り組んだ癒着構造が生んだ利益誘導型政治のもとでは、特権的優遇税制や企業の税金逃れなどの不公正税制のまともな是正は不可能。これは政府当局にもとっくにわかっていることで、不公正が正されなければそれによる税収増などとても望めない。だからこそ政府は、税制の仕組みを大型間接税に移行させようとし、"タックス・マシン"と言われ、"金のなる木""打ち出の小槌"である消費税の導入を強行したのです」と語る。

平成九年四月一日から、消費税率は五パーセントに引き上げられた。しかし、吸い上げた税金のムダ遣いはあいかわらずである

フォト＋日録で再現する365日

▲伊東沖で海底火山が爆発（7月13日）群発地震が続く伊東市で沖合3キロ付近に、突然、黒っぽい煙をともなう高さ30メートルほどの水柱が連続して噴出した。火山噴火予知連絡会は水蒸気爆発と発表。

海上保安庁提供

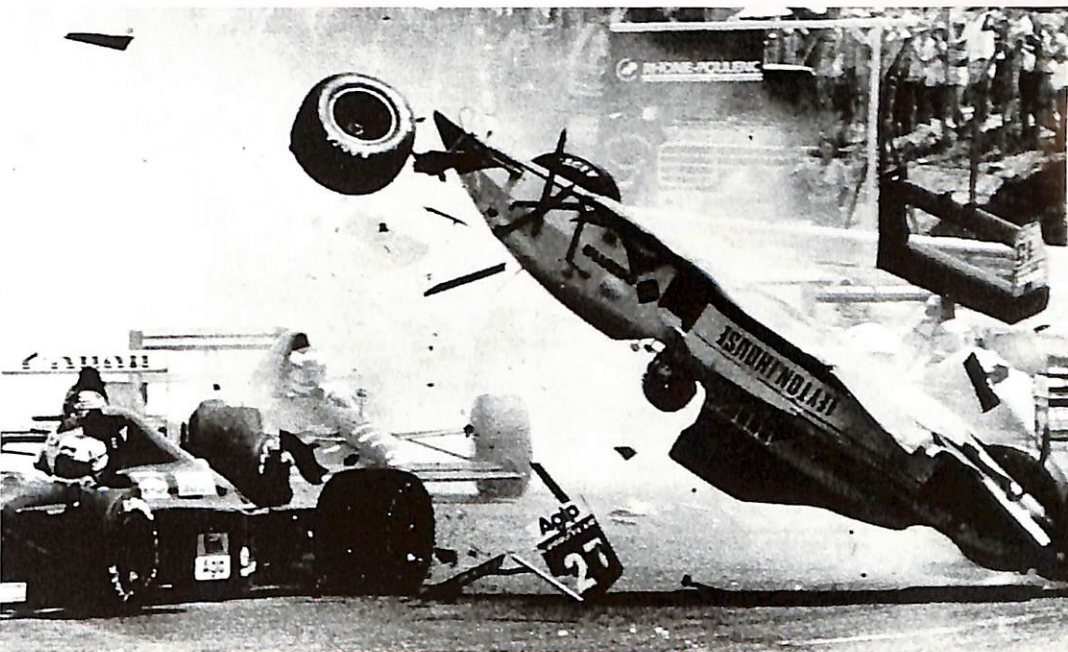
共同通信社

▲韓国女子大生、板門店突破はかる（7月27日）政府の許可なく訪朝した林秀卿さんは、板門店の軍事境界線越えを拒否され「統一実現」を訴えて断食、8月15日、世界の世論を背に帰国した。

▲北海道大雪山に倒木を使った「SOS」（7月25日）主峰旭岳の南斜面で発見。付近に男性の人骨、リュック、後に女性の骨も発見された。男性は行方不明の会社員と判明。翌月、謎のまま捜索中止になった。

共同通信社

共同通信社

▼F1フランスGPでスタート直後に激突（7月9日）ルカステレで行われた決勝レース。マーチがフェラーリに激突して大破したが、ドライバーは無事だった。レースはマクラーレン・ホンダのプロストが優勝。

共同通信社

▲参院選、マドンナ旋風（7月23日）リクルート事件、消費税導入を追い風に、女性候補が大活躍、22人が当選。写真は登院したマドンナ議員たち。

◀越前海岸の崖崩れで小型バスの15人圧死（7月16日）福井県越前町の海沿いの国道305号線で突然、山側斜面が幅20メートルにわたって崩壊。滋賀県の食料品店店主ら乗員15人全員が死亡した。

平成元年7月

1（土）●気象庁、台風の進路予報を四八時間に延長。

2（日）●大工やタイピストなど技能労働者の不足は約二〇六万人で前年のほぼ倍と労働省。

3（月）●通産省、中高年技術者のスペイン移住を後援。

4（火）●初の観光潜水船会社設立（10月沖縄で開業）。

5（水）●参院選公示。女性候補が過去最多になる。

6（木）●今春の国公立大合格者のうち、約三人に一人、四万八〇〇〇人が入学辞退と文部省発表。

7（金）●天皇、相続税四億二八〇〇万円を納税。昭和天皇の課税遺産は一八億六九〇〇万円。

8（土）●前年度の医療費は総額一六兆三九〇〇億円で、老人保険医療費が初めて国保を上回る。

9（日）●伊豆群発地震でM五・五が連続二回起き、伊東市で一八人負傷（13日伊東沖で海底噴火）。

10（月）●堺市教委、出席簿の男子優先改め五十音順に。

11（火）●CBSソニー、履歴書から出身校名を削除。

12（水）●東京歯科大、慶応大のグループが凍結保存した受精卵での妊娠に国内で初めて成功。

13（木）●パリでフランス革命二〇〇年祭記念式典。

14（金）●最高裁、指紋押捺拒否の在日韓国人に、昭和天皇崩御の大赦令による免訴。

15（土）●名古屋で「世界デザイン博」開幕（～11月26日）。

16（日）●福井県越前町の国道で崖崩れ。一五人死亡。

17（月）●ソ連の炭鉱スト、この日三〇万人に拡大。

18（火）●五月の米の貿易赤字は前月比二三％増の一〇二億ドル、対日赤字も一〇％ふえる。

19（水）●学術審議会が建築学用語を三四年ぶりに改定。

20（木）●通産省、ゴルフ場が一兆円産業と発表。

21（金）●米クレイ社と日立がスーパーコンピュータの相互技術供与契約を結ぶ。

22（土）●NTT、いたずら電話撃退の技術開発に着手。

23（日）●参院選挙で自民党惨敗、与野党逆転。
●八王子署、宮崎勤を強制猥褻で逮捕（8月10日幼女の連続殺害を自供、再逮捕）。

24（月）●宇野首相、参院選の敗北などで退陣と表明。

25（火）●大雪山で風倒木で作った「SOS」の文字発見。

26（水）●通産省、米に輸入品発掘チーム派遣を決める。

27（木）●オーストラリアで、熊本県の一歳五ヵ月の男子に母親が生体肝移植（世界で二例目）。

28（金）●郵政省、国際線航空機の地上への電話を許可。

29（土）●宮崎駿監督のアニメ「魔女の宅急便」封切。

30（日）●パリでカンボジア和平の道をさぐる国際会議。当事者の四派のほか日本など一七ヵ国が参加。

31（月）●全国の所得隠しは七二四二億円と国税庁。

証言・あの日この日
中野 翠（42）

6月24日（土）〈2晩にわたって『いか天』のイベントがあってMZA有明に行った。23日は『セメント・ミキサーズ』や『人間椅子』、24日は『ニュース』や『フライング・キッズ』などのバンドの競演だ〉（中野翠『東京風船日記』）

三宅裕司と相原勇を司会にこの年2月からTBSテレビで始まった土曜深夜のアマチュアバンド勝ち抜き番組「平成名物TV　いかすバンド天国」（略称「いか天」）は、わずか数ヵ月で大ブレイクし、この時間帯では異例とも言える視聴率5.5パーセントを記録した。いわゆるバンドブームも起きた。5週勝ち抜いたバンドを中心に行われたイベントの会場MZA有明は、オシャレなベイ・エリアのオシャレなスポットとして若者たちの人気を集めていた。週末には300台収容の駐車場も満車になるほどだったが、バブル崩壊とともに消えた。（坪内祐三）

共同通信社

共同通信社

▲◀幼女連続誘拐殺人魔を逮捕（8月11日）7月に捕まったあきる野市の宮崎勤（写真左）は幼女4人を猥褻目的で殺したと自供し、この日再逮捕。自宅にはビデオテープがぎっしり（上）。殺した幼女の遺体の映像もあった。

朝日新聞社

◀川崎市高津区で崖崩れのダブルパンチ（8月1日）電気店裏手の崖が幅10メートルにわたって崩れ、一家3人が下敷き。救出作業中に再び崖が崩れ、家族のほか消防署員も3人死亡した。

共同通信社

◀横浜の花火大会で大爆発（8月2日）横浜港の山下公園沖350メートルの台船上で打ち上げ中、筒の中で暴発した際の火がほかの花火360発に次々引火、花火師二人死亡、7人が負傷した。

共同通信社

▲バルト3国、独立を求めて「人間の鎖」（8月23日）エストニア、ラトビア、リトアニアの各首都を結ぶ国道上620キロにわたって、約200万人が手をつなぎ、反ソ連の示威行動を行った。

共同通信社

平成元年8月

1（火）●川崎市で崖崩れ、消防署員ら六人が死亡。

2（水）●JR軽井沢駅で北陸新幹線の起工式。

3（木）●文部省、女子の大学進学率が三六・八％で、男子を初めて上回ったと発表。

4（金）●天皇・皇后、即位後初めて記者会見。昭和天皇の戦争責任については明言を避ける。

5（土）●福岡市の元OLが「上司に性的中傷を受けて退職させられた」と福岡地裁に提訴。

6（日）●台風一三号の豪雨で関東に被害、死者一五名。

7（月）●大阪地裁、地下鉄工事訴訟（55年10月）で市に四四〇〇万円の支払いを命令。
●運輸省、リニア実験線の建設を甲府市に決定。

8（火）●『経済白書』、大型景気はかなり続くと宣言。

9（水）●海部俊樹内閣発足。女性二人が入閣。

10（木）●上場企業の六割が中途採用と民間企業調査。

11（金）●潜水調査船「しんかい6500」が宮城県沖の日本海溝で水深六五二七㍍の世界記録達成。

12（土）●千葉県成田署、夏休みを一ヵ月くれないと経営者を殴殺した従業員二人を逮捕。

13（日）●法務省、外国人研修生の二割は労働者と発表。

14（月）●環境庁、全国二九ヵ所で酸性雨を調査。全地点でpH四・四～五・五を記録。

15（火）●日本の人口は一億二三三万人と自治省発表。

16（水）●徳島市内の女子小中学生三人が「前世を見たい」と解熱鎮痛剤を飲み、病院に運ばれる。

17（木）●三菱商事、初の企業内テレビをスタート。

18（金）●外務省、北京をのぞく中国渡航の自粛を解除。

19（土）●厚生省、「小児成人病」の実態調査を開始。

20（日）●文部省、登校拒否児のモデル教室創設を決定。

21（月）●土井社会党委員長、連合政権への意欲を表明。

22（火）●浜松市で家族が「エホバの証人」の信仰を理由に交通事故にあった高校生への輸血を拒否。

23（水）●バルト三国が「人間の鎖」で独立を求める。

24（木）●東京・江東区の高層マンションの二四階で出火。レスキューヘリ出動、子ども六人救出。

25（金）●トヨタの売り上げ、製造業初の七兆円突破。

26（土）●異人館の街、神戸・北野町の道路が全域禁煙に。

27（日）●台風一七号が四国、近畿を縦断、六人が死亡。

28（月）●大手一八社で七月の対中貿易は輸出が二八％、輸入一三％減。天安門事件の影響と新聞に。

29（火）●三井銀行と太陽神戸銀行が翌年に合併と発表。

30（水）●釣り人口は延べ四六〇〇万人と農水省。

31（木）●五月以降九州に着いたベトナム難民一九〇〇人のうち一〇〇〇人は中国系偽装難民と判明。

共同通信社

▲角界初、千代の富士に国民栄誉賞(9月29日)優勝29回の横綱は、賞状と記念の壷を授与され、「重い賞をいただきました」と終始緊張の面持ち。写真左から久美子夫人、千代の富士、海部首相。

読売新聞社

▲上野公園の輪王寺全焼(9月4日)本堂付近から出火し、大書院、小書院など650平方メートルを全焼。都の有形文化財「天海僧正坐像」の焼失が懸念されたが、無事だった。

◀礼宮、川嶋紀子さんと婚約(9月12日)皇室会議の後、赤坂御所で記者会見にのぞみ「ほっとしました」「お認めいただき、嬉しく存じます」と心境を語りながら、終始なごやかな笑顔を見せていた。

朝日新聞社

読売新聞社

▲長崎の被爆者、献花に反発(9月16日)米艦船の核兵器搭載疑惑の中、フリゲート艦艦長が平和祈念像に献花したが、被爆者は花輪を踏みつけて抗議。市は米軍司令部に陳謝した。

共同通信社

▲お嫁においで、ぼくのところへ(9月9日)秋田、山形、宮城など、嫁不足に悩む農村の青年約50人が、「花嫁募集」ののぼりを立てたトラクター20台で、新宿や渋谷の目抜き通りをパレードした。

◀ベトナム軍、カンボジアから撤退(9月26日)残留部隊2万6000人が、市民に見送られて帰還を開始(写真)、11年間の軍事介入は終わったが、国際的監視を受けなかったため内戦は激化した。

共同通信社

平成元年9月

1(金)●ブッシュ米大統領、パナマとの断交を発表。

2(土)●労働省、過労死解明への取り組みを決める。

3(日)●難民を雇いたい中小企業が多いと新聞に。

4(月)●日米経済構造協議が始まる(5日原則合意)。

5(火)●警視庁、米大使館にウラン四㌔を一二〇億円で売りこもうとした会社役員らを逮捕。

6(水)●私鉄系スーパー八社、共同開発の衣類を発表。

7(木)●六三年の政治資金は一七二三億円で過去最高。

8(金)●タイで竹田和弘さんら三人の乗る車が五日強盗に襲われ、この日竹田さんを射殺体で発見。

9(土)●開業医の二三%は自分か家族の安楽死を「ぜひ」希望、と全国保険医団体連合会の調査。

10(日)●比叡山で女子大生の死体発見(13日犯人逮捕)。

11(月)●ハンガリーに出国した東独市民が西独入り。
●農業を継いだ新卒者は過去最低の二一〇〇人。

12(火)●礼宮、川嶋紀子さんと婚約。
●ポーランドで「連帯」主導の政権が発足。

13(水)●通産省、象牙輸入を年内禁止と決定。

14(木)●警視庁、新交通管制システム計画を公表。

15(金)●地下鉄上野広小路駅の地上入り口に乗用車が突っこみ、三七段落下、一〇人が重軽傷。

16(土)●通産省、第五世代コンピュータの利用技術を日米共同で開発と決める。

17(日)●伊東正義元外相らが、北京で李鵬首相と会談。

18(月)●三菱銀行、邦銀初のニューヨーク市場上場。

19(火)●KDD、国際電話料の約一七%値下げを申請。

20(水)●文部省、前年の私学助成金は二四四一億円で、伸び率は最低水準で八年連続ダウンと発表。

21(木)●造船工業会、不況カルテルの廃止を決定。
●貯蓄広報中央委、一世帯当たりの平均貯蓄額が一〇〇〇万円を超えたと発表。

22(金)●千代の富士が秋場所優勝。通算勝ち星史上一位の九六五に(29日国民栄誉賞受賞)。

23(土)●千葉県警、京成電鉄の線路に自転車を置くなど、八回にわたって妨害した男を逮捕。

24(日)●JTB、「人工透析つき海外ツアー」発売。

25(月)●ドル高抑制で日米加、異例の協調介入。

26(火)●気象庁、黒潮が戦後六度目の大蛇行へと発表。

27(水)●ソニーが米映画会社コロンビアの買収を発表。
●横浜ベイブリッジが完成。開通式を挙行。

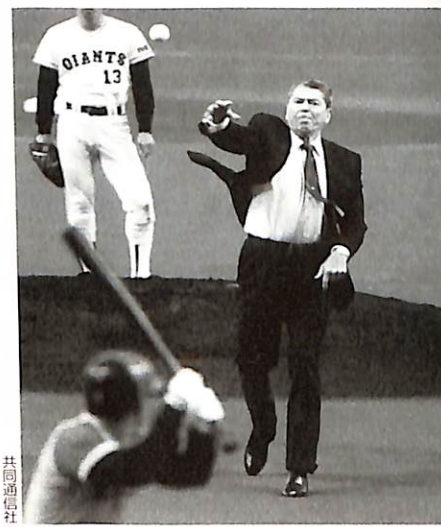
28(木)●TBS、歌謡番組「ザ・ベストテン」を終了。

29(金)●米海軍、横須賀基地工事の談合事件で、四社と一三人の業者に米政府関係の契約を禁止。

30(土)●海部首相、衆院選での小選挙区制導入を示唆。

読売新聞社

共同通信社

▲米誌、ソニーを批判(10月3日)「コロンビア映画買収は、米国の魂を買ったようなもの」との記事に盛田会長は、「批判は残念」とし、買収で成功したCBSレコードの例で反論した。

共同通信社

▲仁王像体内から経巻発見(10月31日)解体修理中の東大寺南大門の国宝「吽形像」(写真右)から、建仁3年(1203)8月8日の日付の経巻(左)が見つかった。同寺の復興につくした僧・重源や仏師・湛慶の名があり、貴重な資料と言われる。

▼自由への特別列車、プラハを出発(10月4日)チェコスロバキアの西独大使館にたてこもっていた6000人の東独市民の出国が認められ、この日、特別列車で続続と西独へ向かった。

WWP

▲サンフランシスコに大地震(10月17日)M7.1の激しい揺れに、二層式のベイブリッジの一部が陥没、ハイウェーもいたるところで崩壊(写真)、住宅の火災などで64人の死者が出た。

共同通信社

▲レーガン米前大統領、始球式(10月24日)近鉄—巨人で行われた日本シリーズ第3戦に登板し、投球は打者の背後を通過。不満のレーガンはもう一度投げ直した。

平成元年10月

1(日)●文部省が生涯学習の体制確立を決定と新聞に。

2(月)●電気通信審議会、NTT三分割案の中間答申。

3(火)●『犯罪白書』前年の刑法犯は史上最高と指摘。

4(水)●ヒルズ米通商代表が日本の市場開放を要求。

5(木)●ダライ・ラマ一四世、ノーベル平和賞受賞。

6(金)●厚生省、人工妊娠中絶の実施限界を、二四週から二二週未満に変更と決める。

7(土)●セクハラの実態を調べる電話相談を第二東京弁護士会が実施、一日で一三八件。

8(日)●イラン・ジャパン石油化学の清算で合意。

9(月)●立山連峰に登山の京都と滋賀の中高年グループ一〇人が吹雪のため遭難、八人死亡。

10(火)●パチンコ業界の与野党議員への献金が判明。

11(水)●日本最長の第二関越トンネルが貫通。

12(木)●平塚署、ブラジル日系人に仕事を紹介、四年間で三〇億円ピンハネした会社社長らを逮捕。

13(金)●ニューヨーク株式市場で史上二番目の大暴落。

14(土)●病気療養中の田中角栄元首相、引退を発表。

15(日)●外務省、朝鮮戦争などの外交文書を公開。

16(月)●埼玉県の県立高校が、入試前に中学の業者テストをもとに合格内定者を決めると新聞に。

17(火)●サンフランシスコで地震、死者六四人。

18(水)●東独のホーネッカー国家評議会議長が辞任。

19(木)●政府、翌月から調査捕鯨実施とIWCに通告。

20(金)●埼玉県警、フィリピンで偽造免許取得を斡旋の暴力団員と偽造免許使用の五二人を摘発。
●道議会、脱スパイクタイヤ推進条例を可決。

21(土)●茶道の裏千家がソ連での茶会開催を決める。
●愛知県で全国初の東海骨髄バンク発足。

22(日)●日赤が献血で製造した血液製剤を超安値で販売、医療機関が多額の利益を得たことが判明。

23(月)●法務省、偽装難民中国人の上陸許可取り消し。

24(火)●日経連、六五歳一律定年延長に反対表明。

25(水)●富士通、広島市水道局の電算機システム設計を一円で落札(予定価格一一〇〇万円)。

26(木)●建設省、地下室を居室とする建築基準を策定。

27(金)●英ポリー・ペック社が山水電気を買収と発表。

28(土)●検事任官希望は二〇人台で史上最低と新聞に。

29(日)●武豊、スーパークリークでオグリキャップをおさえ、夏に続き秋の天皇賞も制覇。
●巨人、三連敗後四連勝し八年ぶり日本一に。

30(月)●文部省、「登校拒否」は小学生六二八五人、中学生三万六一〇〇人で過去最悪と発表。

31(火)●三菱地所、ロックフェラーグループ社を買収。

ユニフォト・プレス

◀28年ぶり、ベルリンの壁事実上消滅(11月11日)東独のクレンツ政権は10日、東西間の直接の通行を認めた。国境開放後、初めての週末となったこの日、東独市民約100万人が、高さ4メートルの壁を越えて西ベルリンへ向かい、熱狂的に歓迎された。

読売新聞社

▼スーツケースに1億円の夢(11月27日)西銀座デパートで、米10キロに1枚つけて客に配るため、愛知・三重40軒の米穀店グループが、360万円分、1万2000枚の宝籤を買いこんだ。

共同通信社

▶坂本弁護士一家、謎の失踪(11月15日)その後の捜査からオウム真理教の犯行と判明。平成7年9月、新潟などの3県で3人の遺骨が発見された。写真左から坂本堤弁護士、龍彦ちゃん、都子夫人。

朝日新聞社

▲総評、解散(11月21日)春闘、60年安保、反戦と戦後を築いた力のひとつが、39年の歴史に幕。この日、連合と全労連(反連合)が誕生した。写真は解散大会後、総評旗をたたむ職員たち。

▶伊勢神宮の宇治橋、渡始式(11月3日)平成5年10月に行われる式年遷宮祭に先立ち、宇治橋が架け替えられ、室町時代の装束に身を包んだ1000人が新しい橋を渡った。

読売新聞社

平成元年11月

1(水)●自民党、パチンコ業界からの献金は国会議員五二人、党全体で一億一八三八万円と公表。
2(木)●三陸沖でM七・一の地震。六四〇〇人が避難。
●米議会、在日米軍経費の全額日本負担を決議。
3(金)●大学生向け情報誌の調査で、日本を代表する文化人の一位に松下幸之助、二位美空ひばり。
4(土)●海没に瀕していた沖ノ鳥島の保全工事完了。
5(日)●五月五日に続き、長良川でカヌー一〇〇〇艇による河口堰反対デモ。
6(月)●豪州で初のAPEC開催。
7(火)●ニューヨーク市長に黒人初のディンキンズ。
8(水)●別府市で住職を誘拐、六億円を要求した創価学会会員ら二人を逮捕。住職は無事。
9(木)●全国八証券取引所の上場企業が二〇〇〇社に。
10(金)●中年男性にゆとりを与えるため、女性や高齢者に仕事分担をと『国民生活白書』。
11(土)●ベルリンの壁、一部取り壊し開始。
12(日)●貴花田、九州場所で新十両(最年少記録)。
13(月)●島根医科大で国内初の、父親から一歳四ヵ月の長男への生体部分肝移植手術に成功。
14(火)●「なだしお」事件(62年)で、山下艦長が部下に航海日誌を改竄させていたことが判明。
15(水)●神奈川県警、横浜市の坂本弁護士一家の行方不明事件(3日)で、公開捜査開始。
16(木)●政府、減反目標面積八三万㌶の三年間凍結を決める。減反助成金は一〇〇億円の増額。
17(金)●都銀の土地融資が急増し一八兆円、と新聞に。
18(土)●国内一の規模の「東京港野鳥公園」開園。
19(日)●九州場所観戦中の老人が、土俵下に転落した水戸泉と霧島の下になり三週間の怪我を負う。
20(月)●旧陸軍将校の親睦団体・偕行社が『南京戦史』出版。虐殺を約三万人と認める。
21(火)●日本労働組合総連合会(連合)結成大会。
22(水)●前橋地検、日航機事故(60年)で不起訴処分。
23(木)●日本の不動産会社、英BBCビル買収と英誌。
24(金)●南太平洋諸国会議、日本の流し網漁禁止決議。
25(土)●三遊亭円楽経営の寄席「若竹」が閉鎖。
26(日)●九州場所で大関の小錦が初優勝。
27(月)●ロンドンのセリ市で日本人がピカソ、モネ、ルノワールなどを三一億円で落札。
28(火)●政府、交通事故死の急増で初の非常事態宣言。
29(水)●大阪・門真税務署、松下幸之助の課税遺産額を二四四九億円と公示。遺産額では過去最高。
30(木)●文部省、国旗、君が代を高校でも義務化。

CORBIS-BETTMANN/PPS

朝日新聞社

◀チャウシェスク政権崩壊(12月22日)ブカレストでは、市民側の国軍と、大統領支持の治安部隊とが戦闘を繰り広げ(写真)、市民は主要機関を占拠。25日、夫妻は非公開で処刑された。

▲田中元首相、議員最後の里帰り(12月3日)10月に政界引退を表明、後援会員らの長年の支持に感謝するため、新潟の選挙区をまわった。写真左から支持者と握手する娘・真紀子と元首相。

▶ダライ・ラマにノーベル平和賞(12月10日)10月に受賞が決定、この日の授賞式で「世界はひとつであり、愛と非暴力が認められて嬉しい」と喜びを語ったが、中国政府は「内政干渉」と強く反発した。

共同通信社

共同通信社

▲波乱の1年、最高値で大納会(12月29日)引け間際、ソ連・東欧関連銘柄が買われ、この年最高値の3万8915円87銭を記録。東京証券取引所は、恒例の手締めで取り引きを終えた。

▶日本初、凍結受精卵児が誕生(12月25日)体外受精卵を凍結保存後、解凍、子宮に戻す方法で妊娠した女性が、市川市の病院で双子の女児を出産した。海外では500人の例がある。

共同通信社

共同通信社

▲成田団結小屋に新兵器(12月5日)警官隊は火炎瓶や投石を防ぐため、反対派の4基のやぐらを、特製の直径5メートル、高さ3メートルの防護ネットでおおった(写真)。二昼夜におよぶ攻防で団結小屋は落城した。

平成元年12月

1(金)●ゴルバチョフ、バチカンを訪問、歴史的和解。
2(土)●日弁連、母子強盗殺人(4月)で誤認逮捕の二少年の声を中心に、少年法のシンポを開く。
3(日)●米ソ首脳が会談、冷戦時代の終結を声明。
4(月)●自衛隊、男子不足で女性定員を七〇〇人増加。
5(火)●長野県、ゴルフ場総面積を森林の二㌫以下に。
6(水)●経企庁、七~九月期の経済成長率は年率一二・二㌫で一六年ぶりの高成長と発表。
7(木)●東京税関、偽造高速券密輸の韓国人を手配。
8(金)●最高裁、石油闇カルテルを告発した鶴岡灯油訴訟(48年)で消費者側敗訴の逆転判決。
9(土)●薬事審、売り上げ上位の抗癌剤の薬効を否定。
●大阪歯科大、レーザー光利用の新治療法開発。
10(日)●青森県六ケ所村村長選で「核燃」凍結派当選。
11(月)●消費税廃止法案が参院で可決(15日廃案)。
12(火)●米国務長官、東西分断後初めて東独を訪問。
13(水)●公共の福祉優先を掲げた土地基本法成立。
14(木)●ドラフトで八球団から一位指名を受けた野茂英雄投手(新日鉄堺)、近鉄に入団。
15(金)●川崎市、三役や局長の株売買を禁止。
16(土)●米国の大学に留学の日本人は二万四〇〇〇人で中国、台湾に次いで三位と米の財団が発表。
17(日)●欧州で被害続出の電算ウイルス汚染ソフトが、日本でも相次いで発見されると新聞に。
18(月)●水戸地裁、茨城県谷田川の浚渫工事の談合で、建設会社三社の幹部三人に有罪判決。
19(火)●東独のドレスデンで東西ドイツ首脳会談開催。
20(水)●米軍、ノリエガ将軍拘束でパナマに武力侵攻。
21(木)●政府、即位の礼を国事行為と決める。
22(金)●閣議、次年度の経済成長見通しを四㌫で了承。
23(土)●九九の私立大が授業料値上げを予定と新聞に。
24(日)●ルーマニア新政権が全土を掌握(25日チャウシェスク前大統領夫妻を銃殺)。
25(月)●東京歯科大市川総合病院で凍結受精卵による出産に初めて成功。双子の女児が誕生。
26(火)●国立大阪病院で初の心臓体外手術に成功。
27(水)●羽生善治六段、島朗竜王を四勝三敗一持将棋で破り、初の一〇代のタイトル保持者となる。
28(木)●チェコ連邦議会議長にドプチェクが就任。
29(金)●政府、国家公務員を三一四八人削減と決定。
30(土)●ニュージーランドで遊覧飛行機同士が空中で接触。日本人観光客六人死亡。
31(日)●ミッテラン仏大統領、「ヨーロッパ連邦」の一九九〇年代実現を期待する新年の声明を発表。

我楽多市

柴門ふみ　小学館

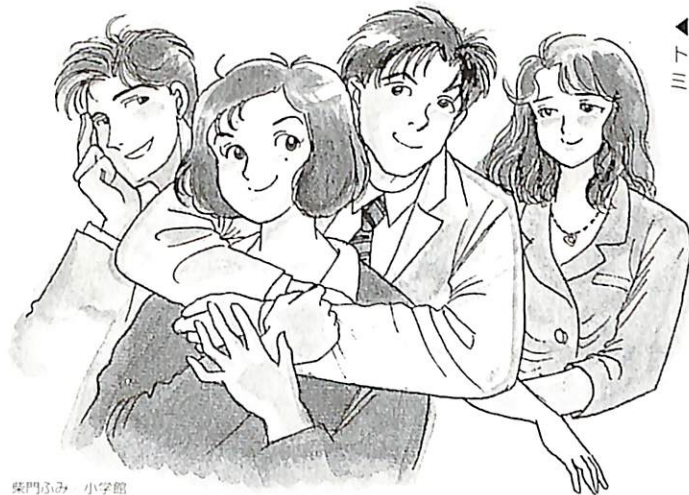
◀1月から、柴門ふみ「東京ラブストーリー」の連載が、「週刊ビッグコミック・スピリッツ」でスタート。

流行語

茶魔語が、子どもにバカ受け

茶魔語とは、「ありがトマト(ありがとう)」「すいま千円(すみません)」など語尾をダジャレっぽく変えてしまうもの。小林よしのりのマンガ「おぼっちゃまくん」の主人公、御坊茶魔が発するギャグで、子どもたちの間に大流行した。「友だちんこ(友だち)」などと言う場合には、お互いの股間にタッチし合いながら口にするなど、エッチな感じがあったのも人気の一因だった。

「超……」。小学生中心の茶魔語に対して一〇代の若者に流行したのがこの言葉。「超暑い」「超うまい」などと使うもので、「若者の間にチョウが舞っている」と言われるくらい流行した。数年前にはやった「すっごい」の代わりとして登場したが、「激辛」などの"激"、「ど迫力」などの"ど"といった強調語より軽くて簡潔なところが、若者の気分にあい、その後は「チョー・ベリー・グッド」などのカタカナ語として使われるようになった。

「おやじギャル」。なりふり構わぬいささかくたびれ気味のOLのこと。趣味は酒とカラオケ、またはパチンコで、休みの日は家でテレビを見ながらゴロゴロというおやじ風ライフスタイルから出た。OLがふえる中で、女性が同性を冷ややかに評価した言葉。

企業

忠誠心を高めるため会社の墓作りが流行

自社の墓を作る会社がふえている。といっても会社が倒産してそれを弔うためではなく、在職中や退職後に亡くなった社員を対象に、その功績をたたえようというものだ。

京都の比叡山には企業墓だけの霊園があり、大阪銀行、滋賀銀行、佐川急便、丸大食品など五〇社ほどが慰霊塔や供養塔を作っている。企業墓のメッカは高野山で、大霊園だけで二〇基、周辺にどれくらいあるか誰もわからないほど。その中にはミノルタ、キヤノン、キリンビール、日産自動車、そごうといった有名企業が名をつらねている。この傾向、社員の帰属意識の薄れる中で、社員と会社の心のつながりを強めようという表れだという。

(「日本経済新聞」三月一四日)

食

赤穂浪士の食べたそばは、色が黒くてパサパサ

徳川時代、江戸の庶民の間では赤穂浪士が討ち入りに際しそばを食べたという言い伝えから、一二月一四日にそばを食べることが流行し、明治時代まで続いていた。そこで東京・麻布十番のそば屋さんが当時をしのんで江戸時代のそばを食べる会を開いた。

この店は、創業二〇〇年という老舗。店に残る文献をもとに当時そのままのそばを再現、酒も当時の製法で作ったものを味わってもらおうという趣向。

で、その味は? といえば色は黒く、パサパサした感じ。これは製粉技術が未熟でそば殻や胚芽が含まれるためだが、そばつゆも当時は醸造期間の短い醤油に酒とおろし汁を加えたものだったため、素朴ではあるが、今の方がおいしいことがわかったという。

(「読売新聞」一二月一五日)

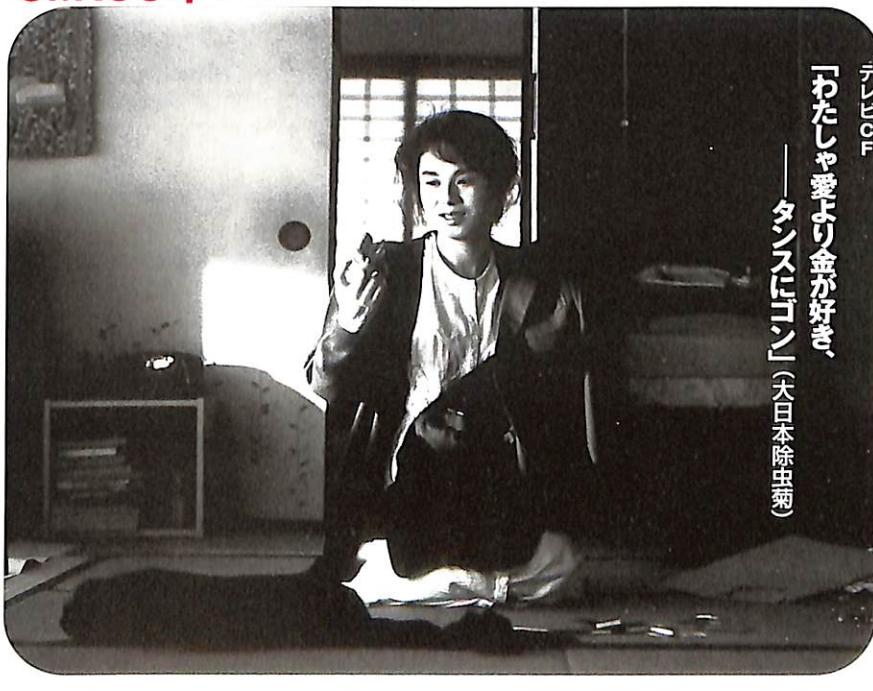
データ

後世に残したい歌を選ぶと「赤とんぼ」が一位に

「あなたが選ぶ日本のうた・ふるさとのうた」一〇〇曲が発表された。一四団体で構成する実行委員会が、後世に伝える歌を選ぼうと全国でアンケート、六五万七〇〇〇通の応募を集計した。

第一位は、"夕やけ小やけの"で知られる「赤とんぼ」。以下「故郷」「夕焼小焼」「朧月夜」「月の沙漠」と続き、「みかんの花咲く丘」「荒城の月」「七つの子」「春の小川」「浜辺の歌」までがベスト一〇だった。

(「毎日新聞」一〇月一二日)

CM100年　タレント・ちあき なおみ

テレビCF
「わたしゃ愛より金が好き、
――タンスにゴン」(大日本除虫菊)

▶11月、JR成田空港駅で「ボージョレ・ヌーヴォー・エキスプレス」に乗って乾杯。

読売新聞社

美女倶楽部　伴田良輔・選

東京という都市の襞に分け入るようにして写真を撮ってきた荒木経惟は、1989年さらに7冊の写真集を上梓、やがて来るヘアヌード狂騒曲もどこ吹く風のマイ・エロス街道を独走していた。この写真は1989年に撮影され、翌年、写真集『冬へ』(マガジンハウス)に収録された。

三面記事

薬が効きすぎて転落した泥棒

泥棒に入る前、恐怖心を克服するために鎮静剤を飲んだ男が、薬が効きすぎて捕まった。

この男は東京・世田谷に住むフリーター(二五)。目黒区内の衣料品倉庫から女性用の衣類一五〇点(一〇〇〇万円相当)を盗もうとアンプル入りの鎮静剤を飲んで倉庫の二階の窓から侵入した。ところが五つの布団袋に衣類を詰めているうちに、薬が効いてきてフラフラ。侵入した窓から布団袋を放り投げようとした拍子に、自分の体までポーン。約四メートル下の車のボンネットに転落、気を失っているところを碑文谷署員に発見された。男によると「自分は気が弱いので緊張する時はいつもこのアンプルを飲んでいるが、今日は念のため、倍の二本飲んだところ効きすぎた」という。

(「山形新聞」七月二日)

かじきと大格闘! 沖縄版『老人と海』

〔沖縄発〕ヘミングウェイの名作『老人と海』を彷彿とさせるようなシーンが、沖縄の海で繰り広げられた。還暦を迎えた漁師がたった一人で延々一〇時間もかけ、ウン百万円もする超大物かじきを仕とめたのだ。

粟国村の漁師・内嶺栄吉さん(六〇)が〇・九五トンの小船で漁に出たのは五月三一日の朝。粟国島の西方約二〇キロあたりで大きなかじきが泳いでいるのにきづき、まぐろの流し釣りからかじき狙いに切り替えた。

餌はかつおで、すぐ食いついてきた。釣り糸をたぐったり、ゆるめたりとかじきとの真剣勝負が続く。鋭い吻を空中に突き出して海面をのたうちまわるかじき。"死闘"は延々一〇時間におよび、あたりは真っ暗。帰港の遅い内嶺さんを心配した島では捜索願いを出し、巡視船が捜索を開始した。

そこへ二四〇キロ、全長約四・五メートルの大物くろかわかじきを釣り上げて意気揚々と帰って来たのだ。ただし内嶺さんの手は"名誉の負傷"で傷だらけ。その後は「体の節々が痛くて」と漁を休んでいるという。

(「琉球新報」六月三日)

共同通信社

▲1月、天竜川河口に、世界で3匹目の珍しい鮫が漂着。

セックス

刑務所内セックスの是非　囚人同士で大討論会

刑務所内でのセックスは是か非か? イタリアの刑務所で大討論会が開かれた。イタリアの刑務所では夜の八時になると二〇分程度のポルノ短編映画が上映されるが、西独、オランダなどでは"愛の部屋"が設けられており、月に一度のセックスが許されている。ある囚人は集会で「セックスは褒美として与えられるようなものではない。食べたり、眠ったりするのと同じ権利だ」と主張、拍手をあびた。

(『昭和性相史』4、第三書館)

ブーム

銅イオンが効果的　水虫には一セントコイン

アメリカの一セントコインが人気を集めている。といってもコイン収集家の間ではなく、水虫に悩む人の間でのこと。足の指の間にはさんでおくと、コインの発する銅イオンが効果があるという噂が広がって、あれよあれよのブームになった。日本の十円玉でもいいのだが大きすぎて効果半減、一セントコインが一番だという。

(「週刊新潮」二月一六日号)

この年の初もの

静電気でイビキを止めるイビキ防止器

●**ショーツ自販機**　女性下着メーカーが、ホワイトデーの前だけ、新宿のデパートに設置。

●**道化師の学校**　神戸に開校。一期生は一四歳の少女から主婦まで一〇人。

●**人材流出防止業**　有能な社員がやめるのを止める会社。報酬は会社との契約金が年一〇〇万円、成功報酬がその人物の年収の二〇%。

●**レンタル家族**　一人暮らしの老人などを、息子夫婦や孫役の人々が訪問、疑似家族を演じるもの。五時間一二万円。

共同通信社

▲6月、直径4メートルのジャンボ太鼓が弘前市で完成。

世界の動き

学生・市民に人民軍が発砲！
天安門広場「血の日曜日」の惨劇

▲実力行使に乗り出した戒厳部隊に、天安門広場の学生·市民は、バスなどを倒して火を放ち抵抗。4日早朝、装甲車が学生テントを蹂躙し、迷彩服の特別部隊が自動小銃を水平撃ちして、広場は制圧された。今枝弘一 PPS

六月四日、北京は「血の日曜日」を迎えた。早暁、戒厳部隊が天安門広場に集まる学生・市民に発砲し、広場は文字どおりの修羅場と化したのである。この日の犠牲者は二〇〇〇人とも三〇〇〇人とも言われるが、中国政府は六日、「人民軍将兵・市民約三〇〇人、学生二三人が死亡」とのみ発表した。

装甲車が学生を襲う！阿鼻叫喚の天安門広場

北京の異変は、衛星放送によって世界各地に伝えられた。アメリカで日本で、多くの人々がテレビの画面を見つめ、天安門事件の目撃者となったのである。

六月三日午後一一時三〇分頃、天安門広場とその周辺には、五万人前後の市民や学生が集まっていたが、状況はまだ平静だった。

四日午前一時三〇分頃、北側の徳勝門と、西側の軍事博物館前に待機していた数万人の戒厳部隊が、一斉に行動を開始する。

装甲車を先頭に、投石や火炎瓶で抵抗する学生・市民に発砲しながら、バスやトラックで作られたバリケードを突破。広場北の長安街に到着した数十台の軍用トラックが、故毛沢東主席の肖像画をバックに停車した。同時に、南側の正陽門の方角からも銃声が響く。

この時、広場には、三〇〇〇～五〇〇〇人の学生が残っていた。

午前四時すぎ、すべてのライトが消え、暗闇の中に、「天安門広場は北京市の中心であり、人民共通の財産である。五時までに広場から出るように求める」との最後通告が流れた。

午前五時頃、小銃を持った兵士たちに続いて、戦車や装甲車の群れが三方向から、どっと広場に突入。

学生たちが、ハンストの拠点にしていたテントは踏みつぶされ、運動のシンボルとして建てられた高さ一〇メートル、石膏製の「民主の女神」像は、轟音とともに引き倒された。広場には、走りまわる戦車のキャタピラ音と銃声が、ひっきりなしに轟いた。

学生たちは人民英雄記念碑のまわりに集まり、最後の抵抗を試みたが、三〇分ほどで鎮圧された。

軍という強大な力によって摘み取られた民主化の〝芽〟

天安門事件にいたる政治的プロセスは、趙紫陽総書記を中心とする改革派と、

▼5月4日、北京の学生自治連は、天安門広場で大集会を開いた。共同通信社

李鵬首相、姚依林副首相および長老グループが形成する保守派の、熾烈な抗争に彩られている。

趙紫陽の実施した経済改革は、インフレと所得格差の拡大を招き、保守派の危機感は頂点に達していたが、鄧小平の調停によって両派の対立は膠着状態におちいった。

しかし、一九八六年の、民主化を要求する学生運動への対応が弱腰であったと保守派から非難され、八七年総書記の座を辞任した胡耀邦の死をきっかけとして、事態は大きく動き出した。

報道の自由と知識人の待遇改善を叫び、共産党の腐敗を追及する学生たちの活動は、日を追うごとに高まっていく。

こうした動きに党機関紙「人民日報」は、この年四月二六日、民主化を求める学生運動を動乱と決めつけ、鎮圧を予告する社説を掲載した。

中国政府は、この社説によって運動の収束を期待したが、学生側は反発し、学生運動はハンスト、広場占拠という強硬路線に展開していく。

五月一五日、こうした中で、ソ連のゴルバチョフ書記長が北京を訪問したが、歓迎式典は大きな変更を余儀なくされた。

ゴルバチョフとの首脳会談の冒頭で趙紫陽は、中華人民共和国中央軍事委員会主席の肩書しか持たない鄧小平が、依然としてすべての最終決定権を持っているという、これまで公にされていなかった事実を明らかにした。自分の開放政策が、今後は鄧小平の方針と対決することを、趙紫陽は暗に学生層にアピールしたのである。

この発言が、一七～一八日の一〇〇万人デモへと発展し、同時に趙自身の失脚へとつながり、二〇日の戒厳令発動のきっかけとなった。

天安門事件で中国は、国際社会の非難を一身にあびることになる。

東京外国語大学学長・中嶋嶺雄氏は「天安門事件は、けっして過去のものではありません。中国はこの事件を克服して、経済面では発展しているように見えますが、中国にとって希望の光であった民主化の〝芽〟が、軍という力によって摘み取られたのです。民主化運動家の王丹氏らへの厳しい弾圧に見られるように、中国の民主化・自由化の火は、今もなお、地下で燃え盛り、また、形を変えて再現されるでしょう」と、中国の近代化に、なお曲折があることを示唆している。

趙紫陽（1919～）政治家。河南省出身。八七年党総書記。八九年天安門事件の収拾に失敗、失脚。
胡耀邦（1915～1989）湖南省出身。八一年に党主席、八七年党総書記辞任、八九年急逝。
鄧小平（1904～1997）四川省出身。実権派の代表的存在で資本主義的経営を導入。

WWP
▶自転車とともに圧殺された学生たちの死体が、天安門広場の近くに放置され人目にさらされた。

外から見たNIPPON

詩人レンドラがみいだした日本独自の〝他者との対応〟

——佐伯 修

現代インドネシアの代表的な詩人・劇作家の一人であるレンドラは、この年の九月、夫人とともに初来日、東京、大阪などで朗読会や座談会を行った。「インドネシアの良心」と言われる彼は、地元ではちょっとしたスーパースターで、コンサート形式の朗読会は、ロックコンサート並みの熱狂に包まれるという。

だが、そんな彼も、作品の中の過激な諷刺が当局の忌避に触れ、投獄や活動禁止の憂き目にあい、当時も、国内の公の場での活動にも、芸術活動のための出国にも、当局の特別許可を要する身であった。

そんな彼の来日が可能になったのは、外務省の文化事業の一環として新たに創設された「アセアン文化センター」が、彼の主宰する「ベンケル（修理工場）劇団」の来日公演を企画したためで、今回の来日は、いわば、その準備のためであった。

翌平成二年一月、「ベンケル劇団」とともに再来日した彼は、詩のグループ「ネフドの会」の主催した、日本の詩人たちとの対話集会で、日本文化についても触れている。

「日本人は自然を含めて、他との交流にダイアローグ的対応をするんですね。いろいろなものを取りこんで、それをみずから咀嚼し、自分なりの独自なものを再生産するんです」（印堂哲郎編訳『レンドラ その前衛の詩宇宙』より）

彼は、日本人の「ダイアローグ的対応」の例として、日本人が、自然を庭園として再構成することで自己の自然観を表現したり、中国の漢字から、独自の意味や、カタカナ、ひらがなを生んだことなどをあげている。一方、ヨーロッパも東南アジアも、自然や文化、テクノロジーに対して、何らかの形で「モノローグ的」だと言う。

一九三五年に、語学教師を父、宮廷の踊り子を母として生まれたレンドラは、ニューヨークで演劇を学び、ヨーロッパなどでの活動歴も長い。詩集『愛する人々のバラード』や戯曲『ナガ族の戦い』などのほか、ソフォクレス、シェークスピア、ブレヒト、ベケットなどの翻訳がある。

さて、前と同じ集会で、彼はまた述べる。

「詩人は常に愛がなければなりません、月や海を愛でるのと同じように、路上の駐車係の子どもたちに対しても、ホテルのボーイに対しても、港湾の荷役や沖仲仕に対しても、妻や恋人や子どもに対してはもちろんのこと、乞食や娼婦や獄中者に対しても、おおよそこの世のありとあらゆるものに対して、詩人は愛がなければなりません」

▲苗字はなく、「レンドラ」がフルネーム。

往きて還らぬ

▲7月11日　ローレンス・オリビエ(82)　イギリスの舞台俳優で、シェークスピア劇の代表的存在。「嵐が丘」などの映画でも活躍。女優ビビアン・リーは元夫人。

▲4月27日　松下幸之助(94)
元松下電器産業社長。丁稚奉公から身を起こして一代で松下電器産業を築き上げ、「経営の神様」と呼ばれた。

▲11月6日　松田優作(39)
俳優。昭和48年「狼の紋章」でデビュー。長身でニヒルなアクションスターとして人気を集めた。癌で急死。

共同通信社
▲7月16日　H・V・カラヤン(81)
指揮者。クラシック界の巨匠。流麗な指揮で人気を博し、ベルリン・フィルに34年間君臨、「帝王」と呼ばれた。

▲6月3日　アヤトラ・ホメイニ(86)
イランの最高指導者。イスラム原理主義に基づく国家建設を推進。小説『悪魔の詩』の著者に死刑を宣告。

▲1月23日　サルバドール・ダリ(84)
スペインの画家。シュールレアリスムの代表的な存在で代表作に「記憶の固執」など。バレエや映画の制作も行った。

▲12月9日　開高健(58)
小説家。昭和32年『裸の王様』で芥川賞受賞。ルポ『ベトナム戦記』や釣り紀行など、行動派として知られた。

▲9月5日　入江徳郎(76)
朝日新聞記者で「天声人語」を7年間執筆。昭和43年から13年間、ＴＢＳテレビ「ニュースコープ」のキャスターを。

▲1月31日　芥川也寸志(63)
作曲家。芥川龍之介の3男。指揮からエッセイ、テレビの司会まで幅広く活躍。また音楽著作権の普及にもつとめた。

▲12月14日　アンドレイ・サハロフ(68)
物理学者。「ソ連水爆の父」として知られる。1975年ノーベル平和賞受賞。民主化運動で流刑されたこともある。

▲9月28日　F・マルコス(72)
フィリピンの政治家。1965年大統領に就任。83年アキノ暗殺で反マルコス運動が激化、追放されてハワイに亡命。

共同通信社
▲6月24日　美空ひばり(52)
歌手。9歳でデビュー。「リンゴ追分」「悲しい酒」「柔」など数々のヒットを飛ばし、「歌謡界の女王」として君臨。

▲4月10日　色川武大(60)
小説家。本名で純文学を、阿佐田哲也のペンネームで麻雀小説を手がけ、代表作『麻雀放浪記』はベストセラーに。

ミニ事典
1989年のキーワード

いか天
二月一一日に始まったTBSテレビの「平成名物TV　いかすバンド天国」の略。土曜日とはいえ深夜にもかかわらず四～五パーセントの視聴率を稼いだ。アマチュアバンドが競演してチャンピオン「いか天キング」を決めるもので、この頃代々木公園などでさかんになっていたホコ天（歩行者天国）での若者たちのパフォーマンスとつながるものがあった。

TBS提供

▲TBS「いか天」の収録。司会は三宅裕司と相原勇。

みどりの日
昭和天皇の誕生日だった四月二九日を、新天皇即位後も祝日にしておくため、二月一五日に可決した「国民の祝日に関する法律」改正案による祝日。日本全土の緑化を推進する運動週間として四月一日から設けられていた「緑の週間」を四月二三日からに移し、その最終日をこの日にあてた。労働界は新祝日誕生が時短に好影響をおよぼすと歓迎した。

報労金
遺失物法第四条に定められている落とし物を拾った人の労に報いるための礼金。拾得金額の五～二〇パーセントを落とし主に請求できる。四月に川崎市の竹藪で発見された二億三五二一万円については、報労金・慰謝料合わせて一〇パーセントが二人の発見者に支払われた。持ち主が捨てたのか落としたのかの判断がむずかしく、どういうお金かもはっきりせず、決着に約半年を要した。

マドンナ旋風
七月二三日の参議院議員選挙で女性が二二人当選（前回一二人）、うち社会党は一一人を占め、与野党を逆転させる勢いとなったので、女性委員長の土井たか子とともに「マドンナ旋風」と話題になった。マドンナとはイタリア語で聖母マリアのことで、転じて憧れの女性。この年、自民党までがこのマドンナブームにあやかって党勢を伸ばそうとした。

おたく族
ある特定の分野にのめりこみ、そのことだけに詳しいが、他者とうまく会話ができない若者。彼らが他者を「おたく」といったところからの命名。「ゲームおたく」「アニメおたく」「ホラーおたく」のように使う。この年埼玉県や東京・江東区などで起こった幼女の誘拐・殺害事件犯人、宮崎勤の残忍な行為、ホラービデオ収集などの異常な「おたくぶり」が明らかになるにつれ、一般化した。

日米構造協議（SII）
日米両国間の大幅な貿易不均衡の原因は両国間の経済構造によるとの認識に立って行われた日米首脳会議。九月四日に第一回会合が行われ、改善すべき構造的要因一三項目について一年間で協議することが決まり、翌年六月、日本側は公共投資の増額、大店法の改正、内外価格差の是正などを改善の骨子とした。

朝日新聞社

▲日米構造協議の米側参加者。中央テーブル左側がマコーマック米国務次官。

メデジン・カルテル
南米コロンビア第二の都市メデジンを拠点にしていた国際麻薬シンジケート。コカインなどの米国への密輸で築いた富によって政府に対抗する勢力を持った。九月五日、ブッシュ米大統領は麻薬根絶の一環としてカルテルの撲滅に乗り出し、以降、壮絶な麻薬戦争に突入、一九九三年、一味の大物エスコバルが射殺された。

偽装難民
ベトナムからの難民をよそおって中国福建省などから日本に職を求めて密入国して来る人たち。五月二九日に長崎県五島列島に一〇七人が漂着したのをはじめ、この年、三八件三四九八人にも達した。日本は九月一三日から、六月にインドシナ難民会議が定めた資格認定を実施、一二月二一日に身元確認ずみの三〇一人を中国へ強制送還したのをはじめ、平成三年までに次々と本国へ送還した。

地球環境保全に関する東京会議
政府、国連環境計画共催で、世界二三ヵ国が参加して九月一一日に開催。会議の二日目、世界がとるべき行動への提言として、地球温暖化対策、熱帯林保護などを採択した。七～一〇日には京都、大阪、東京で民間の地球環境保護団体（環境NGO）が地球環境国際会議を開催、地球環境に対する関心が急速に高まった。

読売新聞社

▲会議から閉め出されたNGOは周辺で抗議のデモ。

ODAバッシング
ODAは政府開発援助の略で、先進国から発展途上国へなされる資金援助のこと。日本はアメリカをしのぎ世界第一の援助大国になっていたが、「ばらまき福祉」との非難が強く、九月一五日の海部政権による「日米首脳会談を受けて麻薬政策にもODAを適用する」との発表も、慎重さを欠いているとの批判が生じた。

プリペイドカード
商品やサービスの購買時に、あらかじめ買っておいたカードで支払いする料金前払い式カード。NTTのテレホンカード、JRのオレンジカードなどが代表的。その後、小銭が不要、カードデザインのファッション性などの魅力から、さまざまな業種に急速に浸透。一二月二二日、消費者保護、信用秩序維持のため、「前払式証票の規制等に関する法律」（プリペイドカード法）が公布された。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1989

CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター　山口至剛
表紙デザイン　山口至剛デザイン室＋渡邉裕之
本文レイアウト　デザインオフィス八起き
編集協力　㈲エービーシープレス　㈱カマル社　シド・プロ　㈲マックス　㈲マライカ　鍵和田良輔　小松邦宏　張替政展　藤森雅弘　結城順・　吉田忠正

●写真協力
渥美武文　アービング・ペン　今枝弘一　熊切圭介　但馬一憲　チャーリー・コール　西澤潤一　平野美津子　藤塚光政　朝日新聞社　オリオン・プレス　共同通信社　CORBIS・BETTMANN　時事通信社　SIPA・PRESS　TBS　PPS　ユニフォト・プレス　読売新聞社　WWP　ISSAY・MIYAKE　海上保安庁　松竹　日本コロムビア　パルコ　P・S・C

雑誌 23704-4/22　T1123704040567
Ⓛ-2001/1/1

印刷　凸版印刷株式会社　製本　本村製本株式会社

週刊 YEAR BOOK 日録20世紀 1980
●昭和天皇ご大喪
4月22日号
第1巻第10号 通巻10号
編集人 近藤達士 発行所 株式会社講談社 郵便番号112-01 東京都文京区音羽2-12-21
定価560円